

志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書

令和 7 年度 第 1 報

(令和 7 年 4 月～6 月分)

令 和 7 年 1 0 月

石 川 県

目 次

1	志賀原子力発電所の運転状況	1
1. 1	運転状況	1
(1)	1号機	1
(2)	2号機	2
1. 2	放射性廃棄物の放出状況	3
(1)	気体廃棄物の放出量	3
(2)	液体廃棄物の放出量	4
2	監視内容	5
2. 1	監視実施機関	5
2. 2	監視期間	5
2. 3	監視項目	5
(1)	空間放射線、大気中放射性物質の測定地点及び頻度	5
(2)	環境試料の採取地点及び頻度等	8
(3)	気象要素の観測地点及び頻度	10
3	監視結果	15
3. 1	空間放射線	15
(1)	線量率	15
3. 2	環境試料中の放射能	17
(1)	大気中放射性物質	17
(2)	核種分析（機器分析）	18
(3)	核種分析（放射化学分析）	19
資料編		21
参 考		57

1 志賀原子力発電所の運転状況

1. 1 運転状況

1号機は、平成23年10月8日より第13回定期検査を実施している。

2号機は、平成23年3月11日より第3回定期検査を実施している。

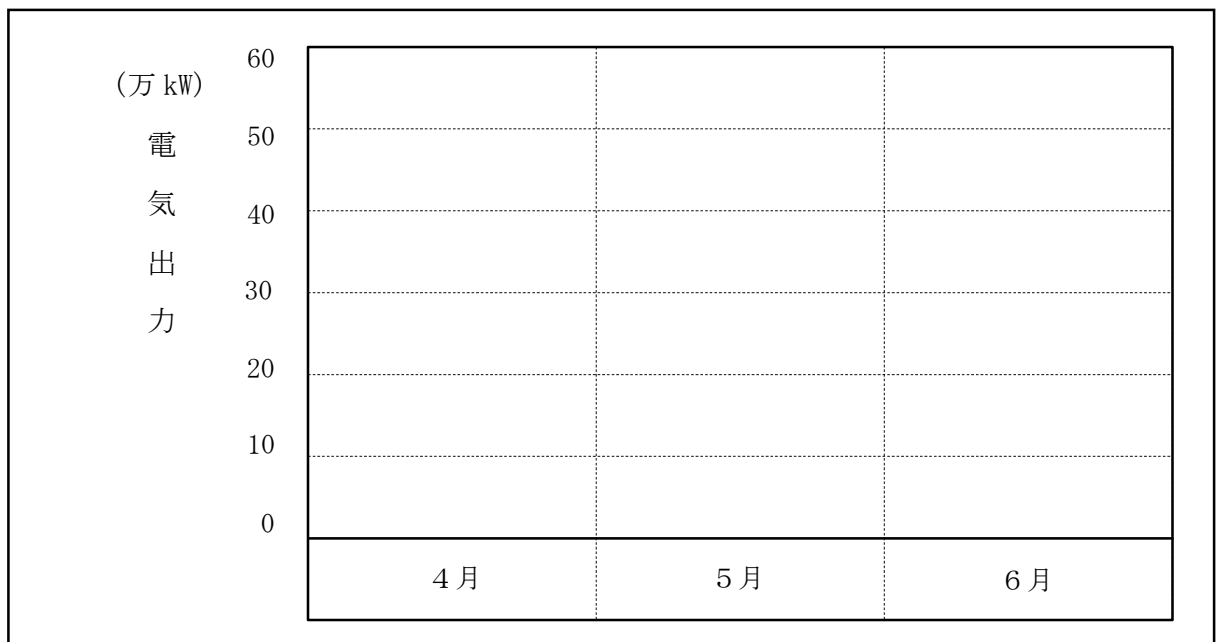
(1) 1号機

①運転実績

項 目	単 位	4 月	5 月	6 月	備考
認 可 出 力	万 kW	5 4			
発 電 時 間	時 間	0	0	0	
発 電 電 力 量	100 万 kWh	0	0	0	
時 間 稼 働 率	%	0	0	0	
設 備 利 用 率	%	0	0	0	

注) $\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$ $\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$

②運転線図



[特記事項]

年 月 日	内 容
(平成23年10月8日)	第13回定期検査開始

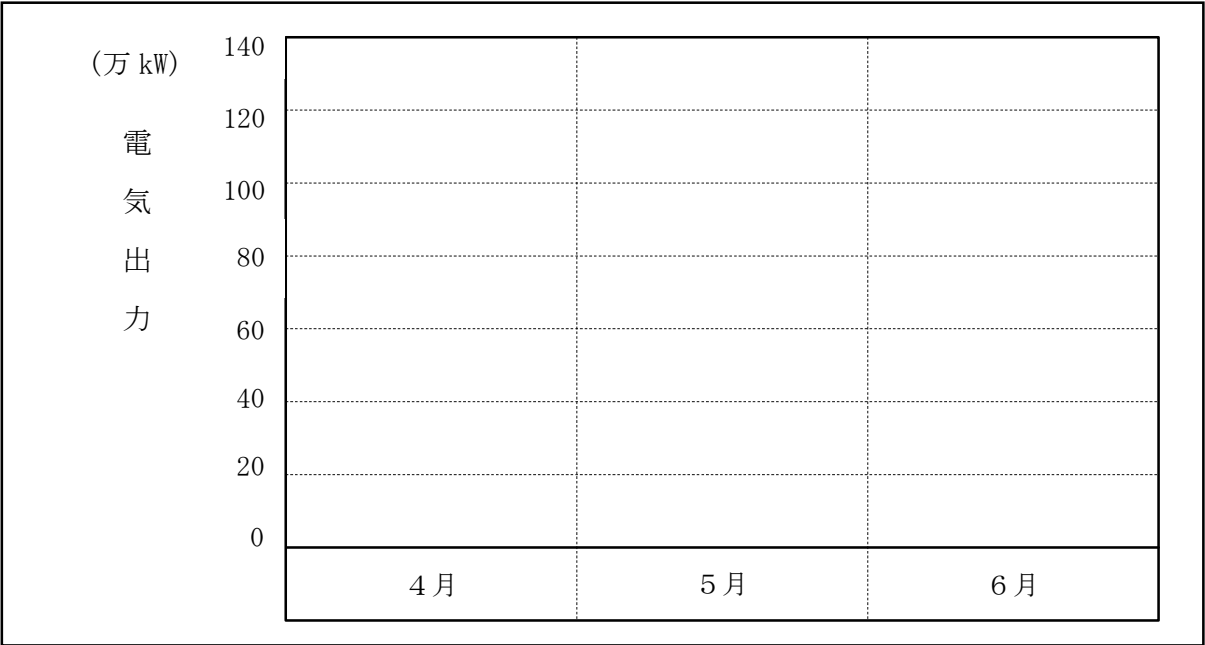
(2) 2号機

①運転実績

項 目	単 位	4 月	5 月	6 月	備考
認 可 出 力	万 kW	1 2 0 . 6			
発 電 時 間	時 間	0	0	0	
発 電 電 力 量	100 万 kWh	0	0	0	
時 間 稼 働 率	%	0	0	0	
設 備 利 用 率	%	0	0	0	

注) $\text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦 時 間}} \times 100 (\%)$ $\text{設備利用率} = \frac{\text{発 電 電 力 量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

②運転線図



[特記事項]

年 月 日	内 容
(平成23年 3 月11日)	第 3 回定期検査開始

1. 2 放射性廃棄物の放出状況

(1) 気体廃棄物の放出量

(単位：Bq)

		全 希 ガ ス		ヨウ素－131	
		当該四半期の 放 出 量	当該年度の 累 積 値	当該四半期の 放 出 量	当該年度の 累 積 値
原子炉施設合計		——	——	——	——
排気筒 別内訳	1 号 機 排 気 筒	——	——	——	——
	2 号 機 排 気 筒	——	——	——	——
	焼却設備排気筒	——	——	——	——

(続き)

		全粒子状物質		トリチウム	
		当該四半期の 放 出 量	当該年度の 累 積 値	当該四半期の 放 出 量	当該年度の 累 積 値
原子炉施設合計		——	——	——	——
排気筒 別内訳	1 号 機 排 気 筒	——	——	——	——
	2 号 機 排 気 筒	——	——	——	——
	焼却設備排気筒	——	——	——	——

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満 (ND) の場合は、放出量を「——」で示す。

全希ガスの検出下限濃度は $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ 以下

ヨウ素-131 の検出下限濃度は $7 \times 10^{-9} \text{Bq/cm}^3$ 以下

全粒子状物質の検出下限濃度は $4 \times 10^{-9} \text{Bq/cm}^3$ 以下 (Co-60 で代表した値)

トリチウムの検出下限濃度は $4 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ 以下

トリチウムの年間放出量 (R4 年度～R6 年度原子炉施設合計実績)

$1.3 \times 10^{10} \sim 1.7 \times 10^{10} \text{Bq}$

(単位：Bq)

全希ガスの放出管理目標値 (年間)	2.3×10^{15}
ヨウ素－131 の放出管理目標値 (年間)	4.8×10^{10}

(2) 液体廃棄物の放出量

(単位：Bq)

		全核種（トリチウムを除く）		トリチウム	
		当該四半期の放出量	当該年度の累積値	当該四半期の放出量	当該年度の累積値
原子炉施設合計		——	——	——	——
放水路別内訳	1号機放水路	——	——	——	——
	2号機放水路	——	——	——	——

注）放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。
 全核種（トリチウムを除く）の検出下限濃度は $2 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ 以下（Co-60 で代表した値）
 トリチウムの検出下限濃度は $2 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ 以下

(単位：Bq)

トリチウムを除く全核種の放出管理目標値（年間）	7.4×10^{10}
トリチウムの放出管理の基準値（年間）	7.4×10^{12}

2 監視内容

2. 1 監視実施機関

石川県及び北陸電力株式会社

2. 2 監視期間

令和7年4月～6月

2. 3 監視項目

(1) 空間放射線、大気中放射性物質の測定地点及び頻度

石川県実施分

測 定 地 点 (図 1 参 照)	測 定 項 目			頻 度	備 考
	空 間 線量率	大 気 中 放射性物質			
	線 量 率	β 放 射 能	ヨ ウ 素		
(1) 大福寺局 (志賀町大福寺)	○			4 月～6 月 (連 続) 〔 環境放射線監視 ネットワークシステム 〕	
(2) 大 西 局 (志賀町大西)	○				
(3) 風 無 局 (志賀町西海風無)	○				
(4) 熊 野 局 (志賀町三明)	○				
(5) 福 浦 局 (志賀町福浦港)	○	○	○		
(6) 直 海 局 (志賀町直海)	○				
(7) 五里峠局 (志賀町五里峠)	○	○	○		
(8) 赤 住 局 (志賀町赤住)	○	○	○		
(9) 志 賀 局 (志賀町安部屋)	○				
(10) 西 岸 局 (七尾市中島町小牧)	○				
(11) 能登島局 (七尾市能登島向田町)	○				
(12) 土 川 局 (七尾市中島町土川)	○				
(13) 笠師保局 (七尾市中島町笠師)	○				

石川県実施分

測 定 地 点 (図 1 参 照)	測 定 項 目			頻 度	備 考
	空 間 線量率	大 気 中 放射性物質			
	線 量 率	β 放 射 能	ヨ ウ 素		
(14) 大 津 局 (七尾市大津)	○			4 月～6 月 (連 続) 〔 環境放射線監視 ネットワークシステム 〕	
(15) 田 鶴 浜 局 (七尾市田鶴浜町)	○				
(16) 東 湊 局 (七尾市佐味町)	○				
(17) 末 坂 局 (中能登町末坂)	○				
(18) 能 登 部 局 (中能登町能登部下)	○				
(19) 一ノ宮局 (羽咋市一ノ宮町)	○				
(20) 門 前 局 (輪島市門前町鬼屋)	○				
(21) 本 郷 局 (輪島市門前町二又川)	○				
(22) 大 町 局 (穴水町字大町)	○				
(23) 志 雄 局 (宝達志水町吉野屋)	○				
(24) 押 水 局 (宝達志水町門前)	○				

北陸電力実施分

測 定 地 点 (図 1 参 照)	測 定 項 目		頻 度	備 考
	空 間 線量率	大 気 中 放射性物質		
	線 量 率	大気浮 遊じん		
		全 β		
① MP－1 (志賀町(発電所敷地境界))	○		4月～6月	
② MP－2 (")	○	○	(連 続)	
③ MP－3 (")	○		〔モニタリングポスト〕	
④ MP－4 (")	○			
⑤ MP－5 (")	○			
⑥ MP－6 (")	○	○		
⑦ MP－7 (")	○			

(2) 環境試料の採取地点及び頻度等

石川県実施分

測 定 試 料			地点数	採 取 地 点 (図 2 参 照)	採 取 月	
					機器分析	放射化学 分析
陸 上 試 料	降 下 物 (雨水ちり)		2	志賀町安部屋(志賀局) 志賀町福浦港(福浦局)	毎 月 (4, 5, 6 月)	
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)		3	志賀町福浦港(福浦局) 志賀町五里峠(五里峠局) 志賀町赤住(赤住局)	連 続 毎 月 (4, 5, 6 月)	
			1	志賀町三明(熊野局)	毎 月 (4, 5, 6 月)	
	大気中放射性物質 (放射性ヨウ素)		3	志賀町福浦港(福浦局) 志賀町五里峠(五里峠局) 志賀町赤住(赤住局)	毎 週 (4, 5, 6 月)	
	陸水	水道水	2	志賀町末吉 志賀町富来領家	4 月	4 月 (³ H)
	指標植物 (松葉)		2	志賀町若葉台 志賀町相神	6 月	
	農畜 産物	牛 乳	1	志賀町西海久喜	5 月	2 月 (⁹⁰ Sr)
海 洋 試 料	指標海産物 (ホンダワラ)		4	志賀町赤住地先 志賀町百浦地先 志賀町福浦港 (丹和) 地先 志賀町福浦港 (水之瀬) 地先	4 月	
	海 産 物	ワカメ	2	志賀町赤住地先 志賀町吉良地先	5 月 4 月	
		サザエ	2	志賀町百浦地先 志賀町吉良地先	5 月	
		チダイ	1	富来沖	5 月	
		メバル	2	志加浦沖 富来沖	5 月 4 月	1 月 (⁹⁰ Sr)
		ヒラメ	1	富来沖	5 月	
		カワハギ	1	富来沖	5 月	

北陸電力実施分

測 定 試 料			地点数	採 取 地 点 (図 2 参 照)	採 取 月	
					機器分析	放射化学 分析
陸 上 試 料	降 下 物 (雨水ちり)		2	発電所敷地内 志賀町福浦港	毎 月 (4, 5, 6 月)	
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)		2	発電所敷地内 (MP－2、MP－6)	連 続 毎 月 (4, 5, 6 月)	
	陸 水	水道水	1	志賀町若葉台	4 月	4 月 (³ H)
		河川水	1	大坪川	4 月	4 月 (³ H)
	土 壤		2	発電所敷地内 志賀町赤住	5 月	2 月 (⁹⁰ Sr)
	指標植物 (松葉)		2	発電所敷地内 志賀町赤住	5 月	
	農畜産物	牛 乳	1	志賀町西海久喜	5 月	
海 洋 試 料	海 水		4	1 号機放水口付近 2 号機放水口付近 志賀町赤住 (江野) 地先 志賀町福浦港 (丹和) 地先	5 月	5 月 (³ H)
	海 底 土		4	1 号機放水口付近 2 号機放水口付近 志賀町赤住 (江野) 地先 志賀町福浦港 (丹和) 地先	5 月	3 月 (⁹⁰ Sr)
	指標海産物 (ホンダワラ)		3	志賀町赤住 (赤住) 地先 志賀町赤住 (江野) 地先 志賀町福浦港 (丹和) 地先	4 月	
	海産物	ワカメ	1	志賀町赤住地先	5 月	
		サザエ	1	志賀町赤住地先	6 月	
		マガレイ	1	志加浦沖	5 月	

(3) 気象要素の観測地点及び頻度

石川県実施分

観 測 地 点 (図 1 参 照)	項 目										頻 度
	風 向	風 速	日 射 量	放 射 収 支 量	気 温	湿 度	降 水 量	積 雪 深	感 雨 雪	感 雷	
(1) 大福寺局(志賀町大福寺)	○	○					○		○		4月～6月 (連 続)
(2) 大西局(志賀町大西)	○	○					○		○		
(3) 風無局(志賀町西海風無)	○	○					○		○	○	
(4) 熊野局(志賀町三明)	○	○					○		○	○	
(5) 福浦局(志賀町福浦港)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(6) 直海局(志賀町直海)	○	○					○		○	○	
(7) 五里峠局(志賀町五里峠)	○	○					○		○	○	
(8) 赤住局(志賀町赤住)	○	○					○		○	○	
(9) 志賀局(志賀町安部屋)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(10) 西岸局(七尾市中島町小牧)	○	○					○		○		
(11) 能登島局(七尾市能登島向田町)	○	○					○		○		
(12) 土川局(七尾市中島町土川)	○	○					○		○	○	
(13) 笠師保局(七尾市中島町笠師)	○	○					○		○		
(14) 大津局(七尾市大津)	○	○					○		○	○	
(15) 田鶴浜局(七尾市田鶴浜町)	○	○					○		○		
(16) 東湊局(七尾市佐味町)	○	○					○		○		
(17) 末坂局(中能登町末坂)	○	○					○		○		
(18) 能登部局(中能登町能登部下)	○	○					○		○		
(19) 一ノ宮局(羽咋市一ノ宮町)	○	○					○		○		

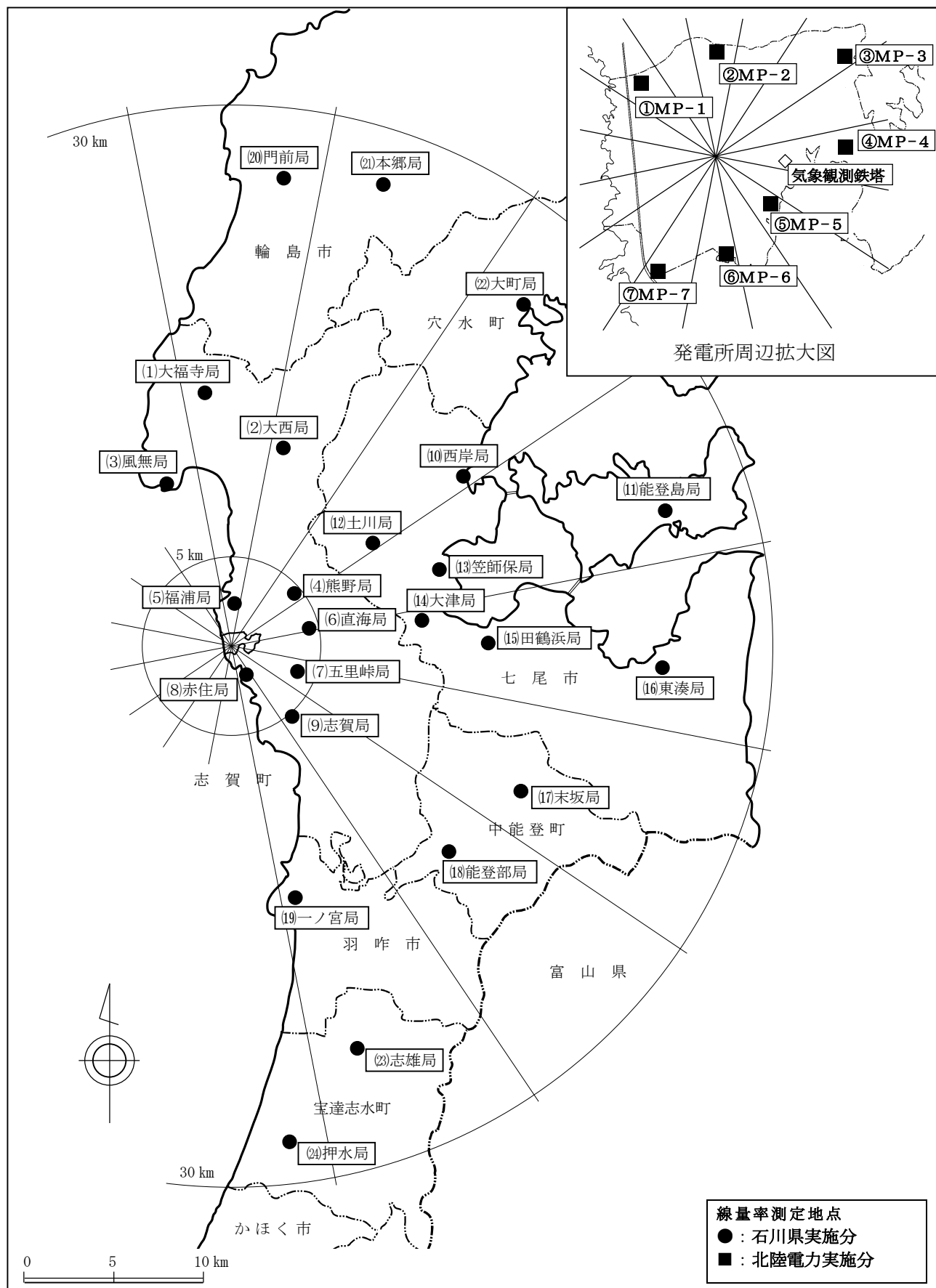
石川県実施分

観測地点 (図1参照)	項目										頻度
	風向	風速	日射量	放射収支量	気温	湿度	降水量	積雪深	感雨雪	感雷	
(20) 門前局(輪島市門前町鬼屋)	○	○					○		○		4月～6月 (連続)
(21) 本郷局(輪島市門前町二又川)	○	○					○		○		
(22) 大町局(穴水町字大町)	○	○					○		○		
(23) 志雄局(宝達志水町吉野屋)	○	○					○		○		
(24) 押水局(宝達志水町門前)	○	○					○		○		

北陸電力実施分

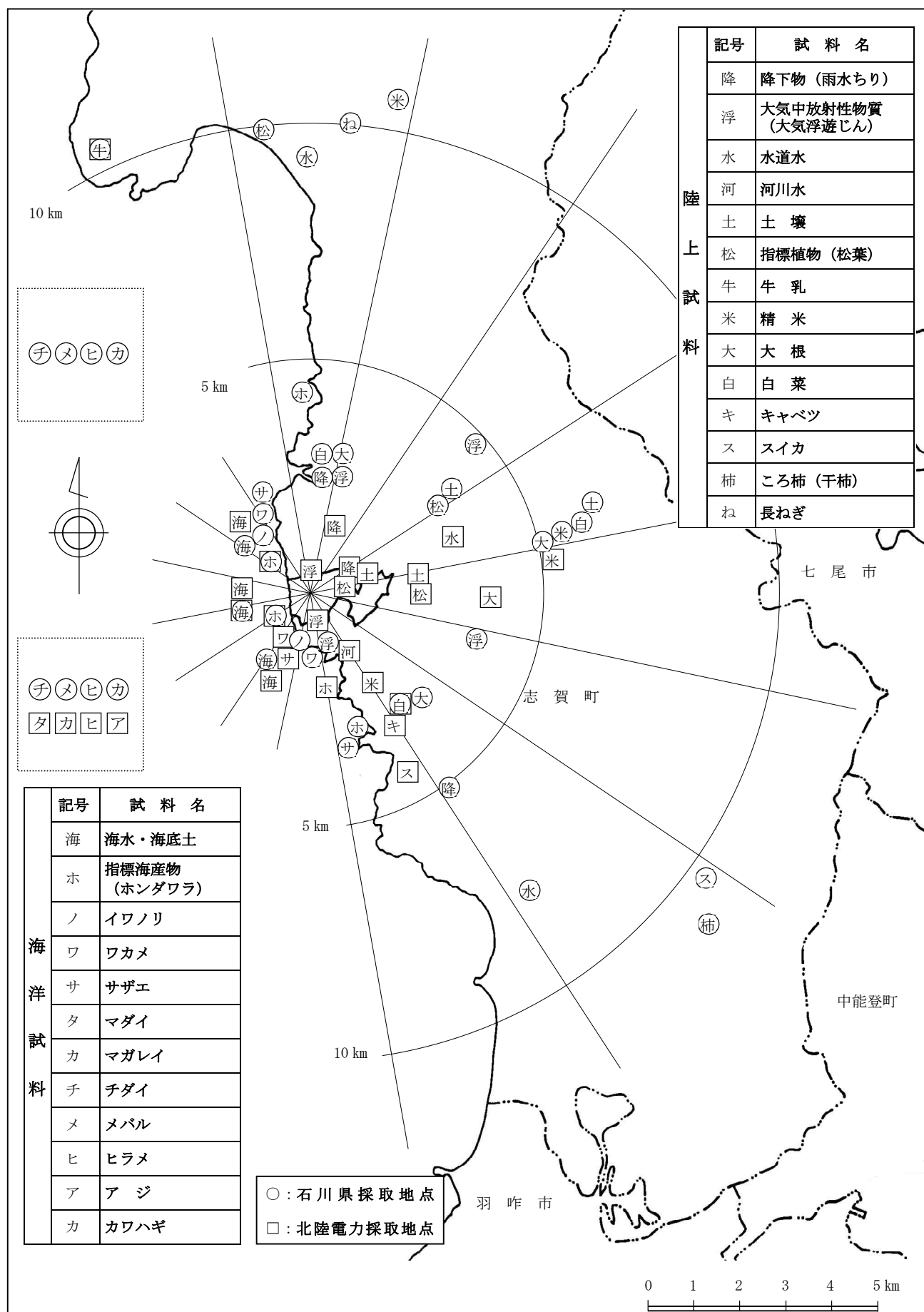
観測地点 (図1参照)	項目										頻度
	風向	風速	日射量	放射収支量	気温	湿度	降水量	積雪深	感雨雪	感雷	
発電所敷地内 (気象観測鉄塔地点)	○	○			○		○		○		4月～6月 (連続)

図1 空間放射線測定地点図



(注) 比較対照局（地点）を除く。

図2 環境試料採取地点図（年度分）



（注）比較対照地点を除く。

3 監視結果

3.1 空間放射線

(1) 線量率

石川県実施分（24局）及び北陸電力実施分（7局）における線量率の測定結果の概要は表1のとおりであった。

過去の平常の変動の上限値（平均値＋標準偏差（ σ ）の3倍）を超えたものは、いずれも降雨等の自然条件の変化によるもの（資料編 P21～P26 の表、P34～P38 の図参照）であった。

表1 線量率の測定結果

石川県実施分

単位：nGy/h

測 定 地 点		最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4～R7.3)		平均値＋3 σ を超えた数, 率	
					測定値範囲	平均値＋3 σ	数	率(%)
志 賀 町	(1) 大福寺局	63.1	39.0	42.0	28.7 ～ 118.2	56.0	36	0.3
	(2) 大 西 局	70.1	39.2	43.0	29.9 ～ 118.2	58.8	96	0.7
	(3) 風 無 局	91.9	46.8	49.1	36.5 ～ 136.6	62.6	83	0.6
	(4) 熊 野 局	69.8	45.4	48.1	33.7 ～ 130.9	62.3	81	0.6
	(5) 福 浦 局	63.7	39.8	42.3	34.0 ～ 136.2	57.8	64	0.5
	(6) 直 海 局	71.4	46.8	50.8	35.4 ～ 117.1	66.4	57	0.4
	(7) 五里峠局	79.2	54.7	57.1	34.8 ～ 117.2	73.0	71	0.5
	(8) 赤 住 局	67.8	47.9	50.5	42.7 ～ 118.5	64.2	63	0.5
	(9) 志 賀 局	75.3	46.9	50.4	30.7 ～ 127.3	68.2	77	0.6
七 尾 市	(10) 西 岸 局	60.0	37.4	39.7	25.4 ～ 103.0	54.4	86	0.7
	(11) 能登島局	66.9	43.2	45.8	28.2 ～ 119.1	62.7	52	0.4
	(12) 土 川 局	77.2	41.9	44.6	29.2 ～ 112.7	60.5	106	0.8
	(13) 笠師保局	75.6	35.3	38.9	23.1 ～ 121.8	55.5	58	0.4
	(14) 大 津 局	67.1	40.2	43.6	27.0 ～ 113.5	59.2	26	0.2
	(15) 田鶴浜局	75.0	44.4	47.4	29.9 ～ 139.1	63.8	71	0.5
	(16) 東 湊 局	68.4	46.0	48.9	32.6 ～ 111.1	62.1	97	0.7

(注) 1) 各測定地点の線量率測定結果に差が見られるが、これは、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いによるものである。

2) 測定器の位置

石川県実施分：鉄柱上（地上 1.8m）

表1 線量率の測定結果（つづき）

石川県実施分

単位：nGy/h

測 定 地 点		最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4～R7.3)		平均値+3 σ を超えた数, 率	
					測定値範囲	平均値+3 σ	数	率(%)
中能登町	(17)末坂局	75.1	46.8	50.4	30.6 ～ 119.0	68.0	38	0.3
	(18)能登部局	82.1	54.5	57.5	39.3 ～ 125.5	72.4	59	0.5
羽咋市	(19)一ノ宮局	68.8	41.9	44.7	32.1 ～ 144.4	61.0	94	0.7
輪島市	(20)門前局	67.8	38.4	41.5	26.2 ～ 127.2	57.5	99	0.8
	(21)本郷局	69.2	36.6	39.3	23.0 ～ 132.1	57.4	61	0.5
穴水町	(22)大町局	68.2	39.5	44.5	27.9 ～ 125.6	60.2	68	0.5
宝達志水町	(23)志雄局	76.5	42.6	45.8	28.6 ～ 112.2	63.8	76	0.6
	(24)押水局	80.4	51.8	54.9	37.8 ～ 120.9	71.8	50	0.4

北陸電力実施分

単位：nGy/h

測 定 地 点		最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4～R7.3)		平均値+3 σ を超えた数, 率	
					測定値範囲	平均値+3 σ	数	率(%)
①	MP-1	49.7	23.4	26.0	20.6 ～ 110	42.2	80	0.6
②	MP-2	55.8	27.5	30.5	22.0 ～ 117	48.7	58	0.5
③	MP-3	51.5	24.3	26.8	18.2 ～ 115	43.8	67	0.5
④	MP-4	57.6	30.7	33.9	22.9 ～ 111	49.9	79	0.6
⑤	MP-5	51.6	24.6	27.1	18.4 ～ 110	43.9	72	0.6
⑥	MP-6	59.3	31.9	34.9	24.1 ～ 125	52.9	50	0.4
⑦	MP-7	50.7	24.1	26.7	20.3 ～ 118	42.7	77	0.6

(注) 1) 各測定地点の線量率測定結果に差が見られるが、これは、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いによるものである。

2) 測定器の位置

石川県実施分：鉄柱上（地上1.8m） 北陸電力実施分：鉄骨造建物屋上（地上4m）

3. 2 環境試料中の放射能

(1) 大気中放射性物質

① 大気浮遊じん

1) 施設起因全 β 放射能濃度推定値 (β 放射能)

β 放射能の結果は表2のとおりであり、確認開始設定値 ($5\text{Bq}/\text{m}^3$) を超えたものはなかった。

表2 β 放射能の結果

単位： Bq/m^3

測定地点	測定回数	最高値	施設起因の確認開始 設定値 ($5\text{Bq}/\text{m}^3$) を 超えた数	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)
福 浦 局	2152	2. 1	0	—
五里峠局	2145	2. 0	0	—
赤 住 局	2151	1. 4	0	—

(注) 測定値は、捕集開始から1時間毎の瞬時値である。

2) 全 β 放射能

全 β 放射能の測定結果は表3のとおりであり、いずれも過去の測定値と同程度であった。

表3 全 β 放射能の測定結果

単位： Bq/m^3

測定地点	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)
MP－2	11	0. 27	2. 9	0. 07 ～ 11
MP－6	11	0. 42	2. 6	0. 06 ～ 12

② 放射性ヨウ素

大気中の放射性ヨウ素の測定結果は表4のとおりであり、全て検出下限値未満であった。

表4 放射性ヨウ素の測定結果

単位： Bq/m^3

測定地点	捕集期間	測定 回数	空気吸引量 ($\text{m}^3/\text{回}$)	測定値	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)
福浦局	R7. 3. 31 ～ R7. 6. 30	12	477 ～ 530	ND	ND
五里峠局	R7. 3. 31 ～ R7. 6. 30	12	477 ～ 540	ND	ND
赤住局	R7. 3. 31 ～ R7. 6. 30	12	469 ～ 533	ND	ND

(注) 「ND」は検出下限値未満である。

1回の捕集時間は、月曜日9時から翌週月曜日9時までの1週間である。

測定値は、捕集終了から3時間経過後に10分間測定した値である。

(2) 核種分析（機器分析）

環境試料について、測定された人工放射性核種の濃度は表5のとおりであった。

陸上試料の土壌から人工放射性核種のセシウム-137が検出されたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値であった。

表5 核種分析（機器分析）結果

測定試料		単位	地点数	検体数	検出された核種・測定値	過去の測定結果*1		
						H2.7 ～H23.2	H23.3 ～H28.3*2	H28.4 ～R7.3
陸上試料	降下物 (雨水ちり)	Bq/m ² ・月	4	12	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.28	¹³⁴ Cs LTD～30*3 ¹³⁷ Cs LTD～30*3	¹³⁷ Cs LTD～0.22
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	mBq/m ³	6	21	LTD	LTD	¹³⁴ Cs LTD～0.61*3 ¹³⁷ Cs LTD～0.54*3	LTD
	陸水	水道水 mBq/L	3	3	LTD	LTD	LTD	LTD
			1	1	LTD	LTD	LTD	LTD
	土 壌	Bq/kg 乾土	2	2	¹³⁷ Cs 25、32	¹³⁷ Cs LTD～130	¹³⁷ Cs LTD～65	¹³⁷ Cs LTD～52
	指標植物(松葉)	Bq/kg 生	4	4	LTD	¹³⁷ Cs LTD～1.1	¹³⁴ Cs LTD～2.9*3 ¹³⁷ Cs LTD～3.0*3	LTD
	農畜 産物	牛 乳	Bq/L	2	2	LTD	LTD	LTD
海洋試料	海 水	mBq/L	4	4	LTD	¹³⁷ Cs LTD～4.3	¹³⁷ Cs LTD～2.7	¹³⁷ Cs LTD～2.5
	海 底 土	Bq/kg 乾土	4	4	LTD	LTD	LTD	LTD
	指標海産物 (ホンダワラ)		7	7	LTD	¹³¹ I LTD～0.21 ¹³⁷ Cs LTD～0.30	¹³¹ I LTD～3.2*3	LTD
	海 産 物	ワカメ	3	3	LTD	LTD	¹³¹ I LTD～1.6*3	LTD
		サザエ	3	6	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.22	LTD	LTD
		マガレイ	1	1	LTD	LTD	LTD	LTD
		チダイ	1	1	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.24	LTD	LTD
		メバル	2	2	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.29	LTD	LTD
		ヒラメ	1	1	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.35	LTD	¹³⁷ Cs LTD～0.22
		カワハギ	1	1	LTD	—*4	—*4	LTD*4

(注)「LTD」は検出目標レベル未満である。

*1：過去の測定結果は、調査開始以降の全ての地点の範囲

*2：福島第一原子力発電所の事故影響であると推定される測定値を含む期間

*3：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

*4：令和6年度からの測定結果

測定機関は資料編参照

(3) 核種分析（放射化学分析）

環境試料中の放射性ストロンチウムの濃度は表6、トリチウムの濃度は表7のとおりであった。

陸上試料の土壌から放射性ストロンチウムが検出されたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値であった。

表6 核種分析（放射化学分析：放射性ストロンチウム）結果

測定試料			単位	地点数	検体数	測定値 (⁹⁰ Sr)	過去の測定結果* ¹		
							H2.7 ～H23.2	H23.3 ～H28.3* ²	H28.4 ～R6.12
陸上試料	土 壌		Bq/kg 乾土	2	2	0.7	1.1 ～3.5	0.8 ～3.9	0.4 ～2.9
	農畜 産物	牛 乳	Bq/L	1	1	LTD	LTD ～0.039	LTD ～0.024	LTD
海洋試料	海 底 土		Bq/kg 乾土	4	4	LTD	LTD	LTD	LTD
	海産物	メバル	Bq/kg 生	1	1	LTD	LTD	LTD	LTD

（注）「LTD」は検出目標レベル未満である。

*¹：過去の測定結果は、調査開始以降の全ての地点の範囲

*²：福島第一原子力発電所の事故影響であると推測される測定値を含む期間
測定機関は資料編参照

表7 核種分析（放射化学分析：トリチウム）結果

測定試料			単位	地点数	検体数	測定値 (³ H)	過去の測定結果* ¹		
							H2.7 ～H23.2	H23.3 ～H28.3* ²	H28.4 ～R7.3
陸上試料	陸 水	水道水	Bq/L	3	3	LTD	LTD ～1.9	LTD	LTD
		河川水		1	1	LTD	LTD ～1.5	LTD	LTD
海洋試料	海 水		Bq/L	4	4	LTD	LTD	LTD	LTD

（注）「LTD」は検出目標レベル未満である。

*¹：過去の測定結果は、調査開始以降の全ての地点の範囲

*²：福島第一原子力発電所の事故影響であると推測される測定値を含む期間
測定機関は資料編参照

資 料 編

1	空間放射線	21
(1)	線量率	21
2	環境試料中の放射能	39
(1)	大気中放射性物質	39
a	大気浮遊じん (β 放射能) の変動状況	39
b	大気浮遊じん (全 β 放射能)	40
c	放射性ヨウ素	40
(2)	核種分析 (機器分析)	41
a	降下物 (雨水ちり)	41
b	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	42
c	陸水	43
d	土壌	43
e	指標植物 (松葉)	43
f	農畜産物	44
g	海水	44
h	海底土	45
i	指標海産物 (ホンダワラ)	45
j	海産物	46
k	放射性ヨウ素	47
(3)	核種分析 (放射化学分析)	48
a	放射性ストロンチウム	48
b	トリチウム	49
3	気象要素	50
	風向・風速	50

1 空間放射線

(1) 線量率

石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4~R7.3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因		欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)	降雨等	その他	
(1)大福寺局	7年4月	4320	63.1	39.6	41.8	28.7 ~ 118.2	56.0 〔平均値 43.3〕 標準偏差 4.3	9	0.2	9	0	0.00
	5月	4464	56.9	39.0	41.9			11	0.2	11	0	0.00
	6月	4320	58.8	39.4	42.4			16	0.4	16	0	0.00
	期 間	13104	63.1	39.0	42.0			36	0.3	36	0	0.00
(2)大西局	7年4月	4320	70.1	39.5	42.9	29.9 ~ 118.2	58.8 〔平均値 43.8〕 標準偏差 5.0	17	0.4	17	0	0.00
	5月	4464	63.7	40.6	42.9			24	0.5	24	0	0.00
	6月	4320	67.4	39.2	43.2			55	1.3	55	0	0.00
	期 間	13104	70.1	39.2	43.0			96	0.7	96	0	0.00
(3)風無局	7年4月	4320	91.9	47.1	48.8	36.5 ~ 136.6	62.6 〔平均値 50.3〕 標準偏差 4.1	10	0.2	10	0	0.00
	5月	4424	65.8	46.8	49.1			26	0.6	26	0	0.90
	6月	4312	68.7	46.8	49.4			47	1.1	47	0	0.19
	期 間	13056	91.9	46.8	49.1			83	0.6	83	0	0.37
(4)熊野局	7年4月	4320	67.9	45.5	47.6	33.7 ~ 130.9	62.3 〔平均値 48.3〕 標準偏差 4.7	8	0.2	8	0	0.00
	5月	4423	65.4	45.4	48.0			16	0.4	16	0	0.92
	6月	4306	69.8	46.2	48.6			57	1.3	57	0	0.32
	期 間	13049	69.8	45.4	48.1			81	0.6	81	0	0.42
(5)福浦局	7年4月	4320	56.8	40.0	41.9	34.0 ~ 136.2	57.8 〔平均値 44.1〕 標準偏差 4.6	0	0.0	0	0	0.00
	5月	4423	60.3	39.8	42.2			5	0.1	5	0	0.92
	6月	4312	63.7	40.0	42.8			59	1.4	59	0	0.19
	期 間	13055	63.7	39.8	42.3			64	0.5	64	0	0.37
(6)直海局	7年4月	4319	64.5	46.8	50.5	35.4 ~ 117.1	66.4 〔平均値 52.4〕 標準偏差 4.7	0	0.0	0	0	0.02*
	5月	4425	69.1	46.8	50.6			13	0.3	13	0	0.87
	6月	4313	71.4	47.1	51.2			44	1.0	44	0	0.16
	期 間	13057	71.4	46.8	50.8			57	0.4	57	0	0.36

(注) 測定器の位置：鉄柱上（地上1.8m）

*：核医学診断用Ri投与者の接近の影響による欠測（4月2日：1個）

(1) 線量率 (つづき)
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)		平均値 + 標準偏差 × 3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 + 標準偏差 × 3	数	率 (%)		
志賀町	(7) 五里峠局	7年4月	74. 6	54. 7	56. 6	34. 8 ～ 117. 2	73. 0 (平均値 57. 9) 標準偏差 5. 0)	3	0. 1	3	0. 00
		5月	76. 8	54. 7	57. 1			16	0. 4	16	0. 87
		6月	79. 2	55. 2	57. 5			52	1. 2	52	0. 21
		期 間	79. 2	54. 7	57. 1			71	0. 5	71	0. 37
	(8) 赤住局	7年4月	63. 6	47. 9	50. 3	42. 7 ～ 118. 5	64. 2 (平均値 52. 4) 標準偏差 3. 9)	0	0. 0	0	0. 00
		5月	65. 0	47. 9	50. 4			7	0. 2	7	0. 87
		6月	67. 8	48. 3	50. 9			56	1. 3	56	0. 21
		期 間	67. 8	47. 9	50. 5			63	0. 5	63	0. 37
	(9) 志賀局	7年4月	68. 7	47. 4	49. 8	30. 7 ～ 127. 3	68. 2 (平均値 51. 6) 標準偏差 5. 6)	1	0. 0	1	0. 00
		5月	75. 3	46. 9	50. 2			27	0. 6	27	0. 92
		6月	74. 7	47. 4	51. 1			49	1. 1	49	0. 19
		期 間	75. 3	46. 9	50. 4			77	0. 6	77	0. 37
七尾市	(10) 西岸局	7年4月	56. 8	37. 4	39. 5	25. 4 ～ 103. 0	54. 4 (平均値 40. 9) 標準偏差 4. 5)	14	0. 3	14	0. 00
		5月	59. 5	37. 5	39. 6			31	0. 7	31	0. 00
		6月	60. 0	37. 6	40. 1			41	1. 0	41	1. 81
		期 間	60. 0	37. 4	39. 7			86	0. 7	86	0. 60
	(11) 能登島局	7年4月	63. 9	43. 4	45. 6	28. 2 ～ 119. 1	62. 7 (平均値 47. 0) 標準偏差 5. 2)	5	0. 1	5	0. 00
		5月	65. 7	43. 5	45. 8			17	0. 4	17	0. 00
		6月	66. 9	43. 2	46. 0			30	0. 7	30	1. 74
		期 間	66. 9	43. 2	45. 8			52	0. 4	52	0. 57
	(12) 土川局	7年4月	77. 2	42. 2	44. 5	29. 2 ～ 112. 7	60. 5 (平均値 45. 3) 標準偏差 5. 1)	14	0. 3	14	0. 00
		5月	64. 4	42. 0	44. 5			27	0. 6	27	0. 90
		6月	71. 0	41. 9	44. 7			65	1. 5	65	0. 16
		期 間	77. 2	41. 9	44. 6			106	0. 8	106	0. 36

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1. 8m)

(1) 線量率 (つづき)
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)		
七尾市	(13) 笠師保局	7年4月	75.6	35.8	38.8	23.1 ～ 121.8	55.5 (平均値 40.1) 標準偏差 5.1)	17	0.4	17	0
		5月	60.9	35.9	38.8			19	0.4	19	0
		6月	57.7	35.3	39.1			22	0.5	22	0
		期 間	75.6	35.3	38.9			58	0.4	58	0
	(14) 大津局	7年4月	67.1	40.3	43.6	27.0 ～ 113.5	59.2 (平均値 45.1) 標準偏差 4.7)	6	0.1	6	0
		5月	62.9	40.2	43.5			17	0.4	17	0
		6月	59.7	40.5	43.8			3	0.1	3	0
		期 間	67.1	40.2	43.6			26	0.2	26	0
	(15) 田鶴浜局	7年4月	75.0	45.3	47.5	29.9 ～ 139.1	63.8 (平均値 48.5) 標準偏差 5.1)	11	0.3	11	0
		5月	70.5	44.7	47.3			24	0.5	24	0
		6月	66.7	44.4	47.3			36	0.8	36	0
		期 間	75.0	44.4	47.4			71	0.5	71	0
	(16) 東湊局	7年4月	68.4	46.5	48.9	32.6 ～ 111.1	62.1 (平均値 48.4) 標準偏差 4.6)	31	0.7	31	0
		5月	68.3	46.0	48.7			27	0.6	27	0
		6月	67.4	46.0	48.9			39	0.9	39	0
		期 間	68.4	46.0	48.9			97	0.7	97	0
中能登町	(17) 末坂局	7年4月	69.8	47.6	50.6	30.6 ～ 119.0	68.0 (平均値 51.8) 標準偏差 5.4)	5	0.1	5	0
		5月	75.1	47.0	50.3			31	0.7	31	0
		6月	69.8	46.8	50.4			2	0.0	2	0
		期 間	75.1	46.8	50.4			38	0.3	38	0
	(18) 能登部局	7年4月	76.2	55.4	57.4	39.3 ～ 125.5	72.4 (平均値 58.3) 標準偏差 4.7)	6	0.1	6	0
		5月	82.1	54.8	57.5			37	0.8	37	0
		6月	75.0	54.5	57.8			16	0.4	16	0
		期 間	82.1	54.5	57.5			59	0.5	59	0

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.8m)

(1) 線量率 (つづき)
石川県実施分

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4~R7.3)		平均値 + 標準偏差 × 3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 + 標準偏差 × 3	数	率 (%)		
羽咋市	7年4月	4320	63.8	42.3	44.5	32.1 ~ 144.4	61.0 〔 平均値 45.8 〕 標準偏差 5.1	16	0.4	16	0.00
	5月	4464	67.6	41.9	44.7			34	0.8	34	0.00
	6月	4250	68.8	42.2	44.9			44	1.0	44	1.62
	期 間	13034	68.8	41.9	44.7			94	0.7	94	0.53
輪島市	7年4月	4320	67.8	39.1	41.4	26.2 ~ 127.2	57.5 〔 平均値 42.1 〕 標準偏差 5.1	35	0.8	35	0.00
	5月	4464	59.8	38.5	41.3			15	0.3	15	0.00
	6月	4302	63.2	38.4	41.7			49	1.1	49	0.42*
	期 間	13086	67.8	38.4	41.5			99	0.8	99	0.14
(21) 本郷局	7年4月	4320	69.2	36.7	39.1	23.0 ~ 132.1	57.4 〔 平均値 40.0 〕 標準偏差 5.8	11	0.3	11	0.00
	5月	4464	60.9	36.6	39.2			14	0.3	14	0.00
	6月	4320	64.5	36.7	39.6			36	0.8	36	0.00
	期 間	13104	69.2	36.6	39.3			61	0.5	61	0.00
穴水町	7年4月	4320	67.1	40.3	44.5	27.9 ~ 125.6	60.2 〔 平均値 45.1 〕 標準偏差 5.0	17	0.4	17	0.00
	5月	4464	68.2	40.5	44.4			24	0.5	24	0.00
	6月	4320	64.1	39.5	44.7			27	0.6	27	0.00
	期 間	13104	68.2	39.5	44.5			68	0.5	68	0.00
(23) 志雄局	7年4月	4320	74.5	43.1	45.6	28.6 ~ 112.2	63.8 〔 平均値 46.8 〕 標準偏差 5.6	9	0.2	9	0.00
	5月	4385	76.5	42.7	45.9			38	0.9	38	1.77
	6月	4320	67.5	42.6	45.9			29	0.7	29	0.00
	期 間	13025	76.5	42.6	45.8			76	0.6	76	0.60
(24) 押水局	7年4月	4320	80.4	51.8	54.6	37.8 ~ 120.9	71.8 〔 平均値 56.1 〕 標準偏差 5.2	10	0.2	10	0.00
	5月	4385	77.4	51.9	54.9			23	0.5	23	1.77
	6月	4319	75.9	51.8	55.1			17	0.4	17	0.02
	期 間	13024	80.4	51.8	54.9			50	0.4	50	0.61

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.8m)

*：レントゲン検診の影響による欠測 (6月11日：18個)

(1) 線量率 (つづき)
石川県実施分

単位 : nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R6.4～R7.3)*		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)		
能美市 辰口局* (比較対象局)	7年4月	4320	66.2	35.0	38.1	—*	—* 〔 平均値 —* 標準偏差 —* 〕	—*	—*	降雨等 感雨雪計の 設置なし	0.00
	5月	4464	63.4	35.4	38.9			—*	—*		0.00
	6月	4302	59.4	36.0	39.3			—*	—*		0.00
	期 間	13086	66.2	35.0	38.8			—*	—*		0.00

(注) 測定器の位置：鉄柱上 (地上1.0m)

*：令和6年3月の検出器更新に伴い、設置位置等を変更したため、「過去の測定結果」については「—」とした。更新前の測定値範囲 (令和3年4月～令和6年3月) は30.6～95.1nGy/h

(1) 線量率 (つづき)
北陸電力実施分

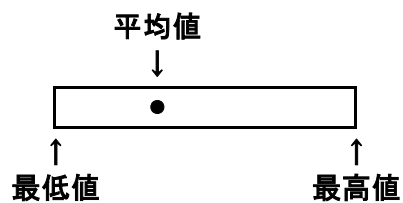
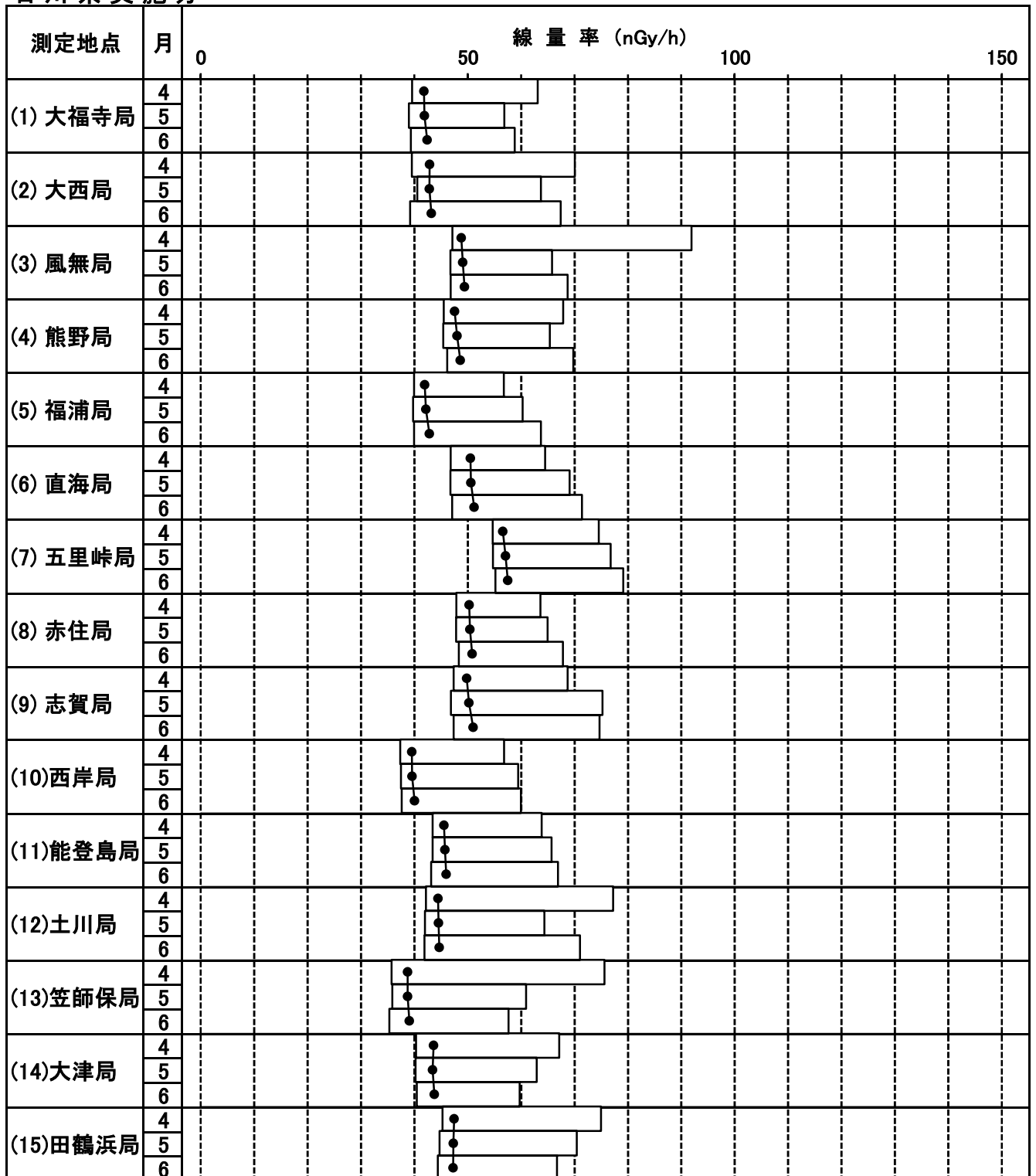
単位：nGy/h

測定地点	測定年月	測定数	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4. 4～R7. 3)		平均値 +標準偏差×3 を超えた数及び率		原因	欠測率 (%)
						測定値範囲	平均値 +標準偏差×3	数	率 (%)		
① MP-1	7年4月	4320	42.4	23.8	25.7	20.6 ～ 110	42.2 〔平均値 27.6〕 標準偏差 4.9〕	1	0.0	1	0.00
	5月	4464	44.9	23.4	25.9			18	0.4	18	0.00
	6月	4188	49.7	24.0	26.4			61	1.5	61	3.06
	期 間	12972	49.7	23.4	26.0			80	0.6	80	1.01
② MP-2	7年4月	4320	47.1	27.5	30.1	22.0 ～ 117	48.7 〔平均値 33.9〕 標準偏差 4.9〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	48.9	28.0	30.6			1	0.0	1	0.00
	6月	4098	55.8	27.9	30.9			57	1.4	57	5.14
	期 間	12882	55.8	27.5	30.5			58	0.5	58	1.69
③ MP-3	7年4月	4320	42.8	24.3	26.5	18.2 ～ 115	43.8 〔平均値 29.6〕 標準偏差 4.7〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	44.6	24.4	26.7			7	0.2	7	0.00
	6月	4194	51.5	24.5	27.2			60	1.4	60	2.92
	期 間	12978	51.5	24.3	26.8			67	0.5	67	0.96
④ MP-4	7年4月	4320	48.5	30.7	33.4	22.9 ～ 111	49.9 〔平均値 35.7〕 標準偏差 4.7〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	52.1	31.4	34.2			17	0.4	17	0.00
	6月	4200	57.6	30.7	34.2			62	1.5	62	2.78
	期 間	12984	57.6	30.7	33.9			79	0.6	79	0.92
⑤ MP-5	7年4月	4320	42.2	24.6	26.7	18.4 ～ 110	43.9 〔平均値 29.1〕 標準偏差 5.0〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	45.7	24.6	27.0			12	0.3	12	0.00
	6月	4219	51.6	24.9	27.6			60	1.4	60	2.34
	期 間	13003	51.6	24.6	27.1			72	0.6	72	0.77
⑥ MP-6	7年4月	4320	50.1	32.2	34.9	24.1 ～ 125	52.9 〔平均値 37.6〕 標準偏差 5.1〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	53.5	32.1	34.8			3	0.1	3	0.00
	6月	4108	59.3	31.9	35.1			47	1.1	47	4.91
	期 間	12892	59.3	31.9	34.9			50	0.4	50	1.62
⑦ MP-7	7年4月	4320	41.6	24.6	26.5	20.3 ～ 118	42.7 〔平均値 28.3〕 標準偏差 4.8〕	0	0.0	0	0.00
	5月	4464	45.1	24.1	26.6			16	0.4	16	0.00
	6月	4217	50.7	24.1	27.0			61	1.4	61	2.38
	期 間	13001	50.7	24.1	26.7			77	0.6	77	0.79

(注) 測定器の位置：鉄骨建物屋上（地上4m）

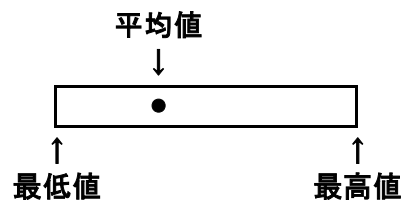
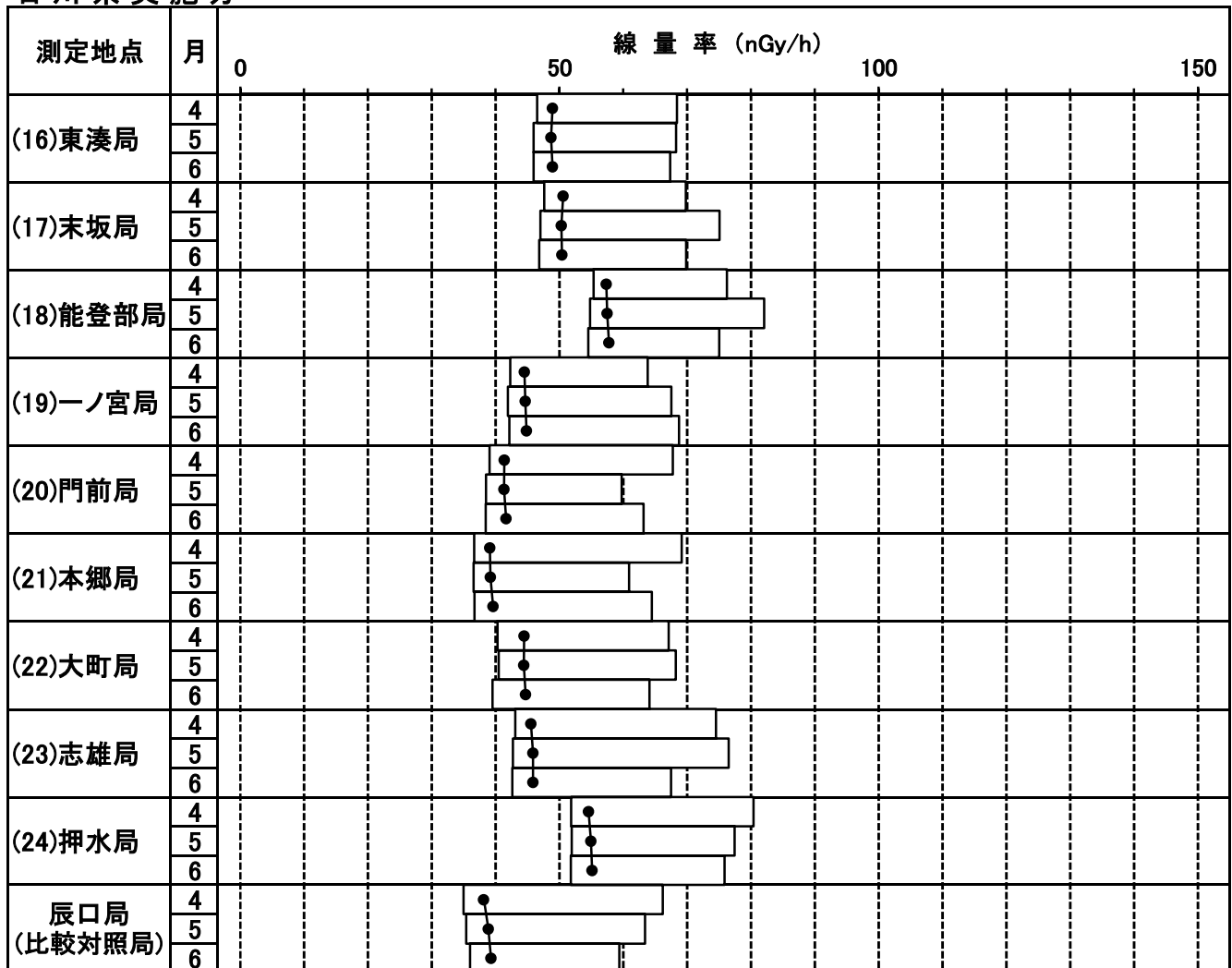
線量率の変動状況

石川県実施分



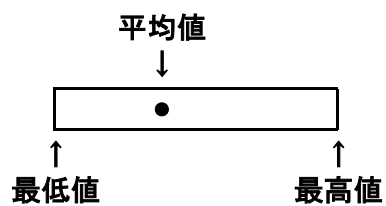
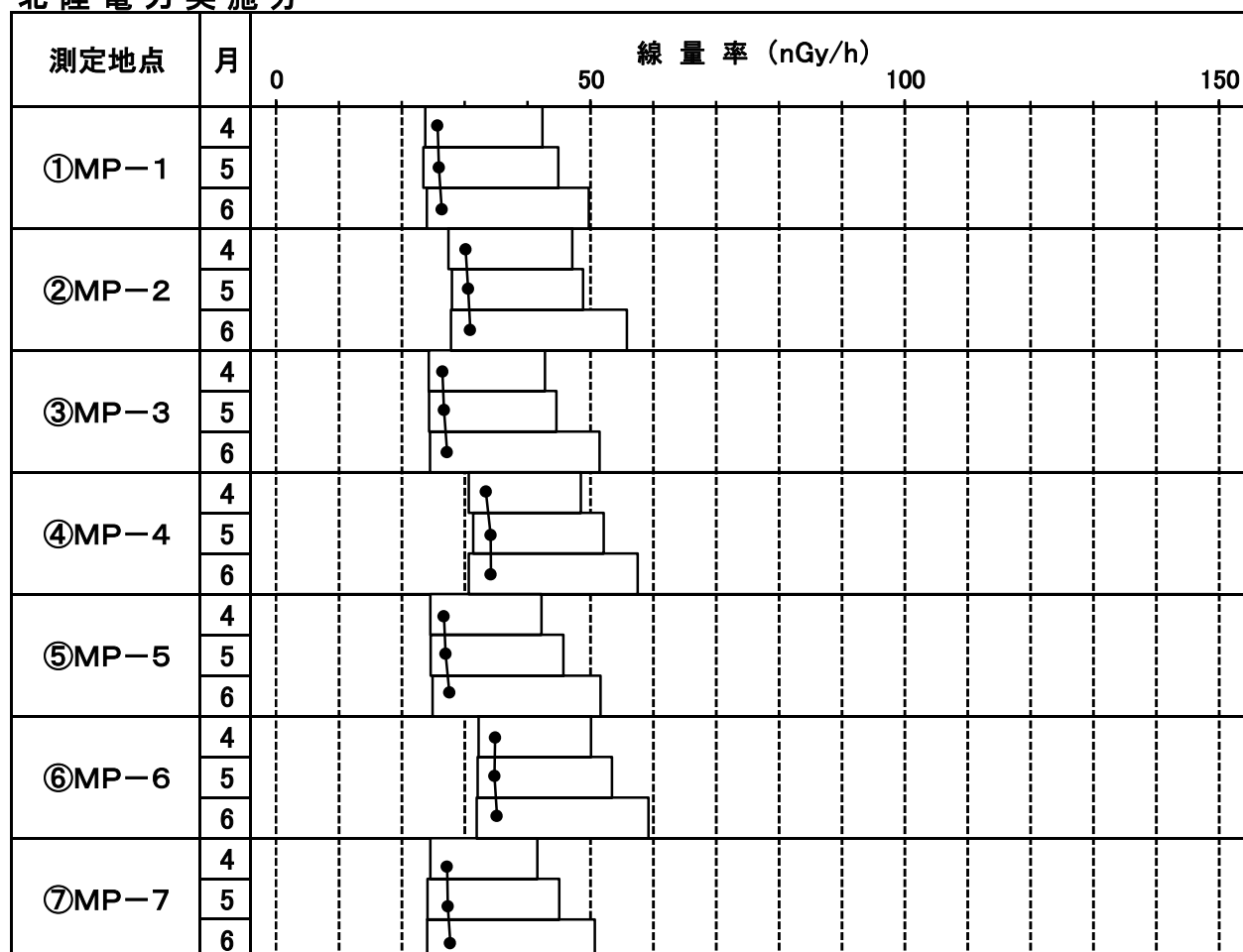
線量率の変動状況

石川県実施分



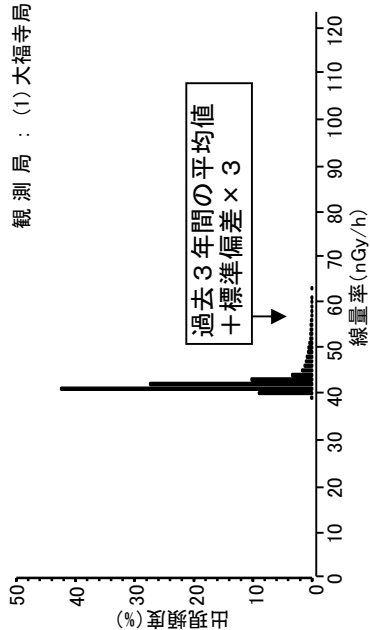
線量率の変動状況

北陸電力実施分

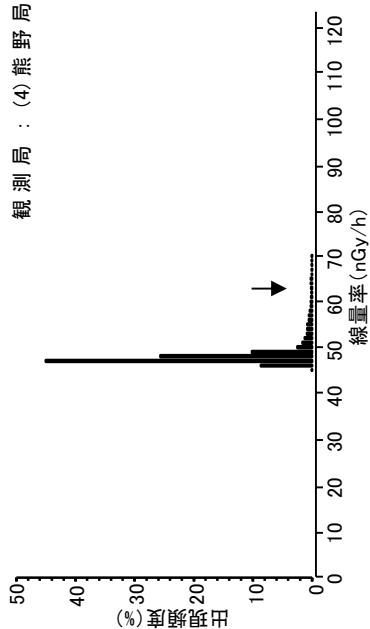


線量率の出現頻度

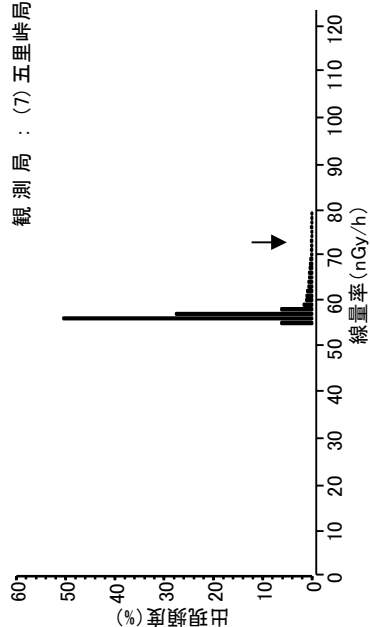
観測局：(1)大福寺局



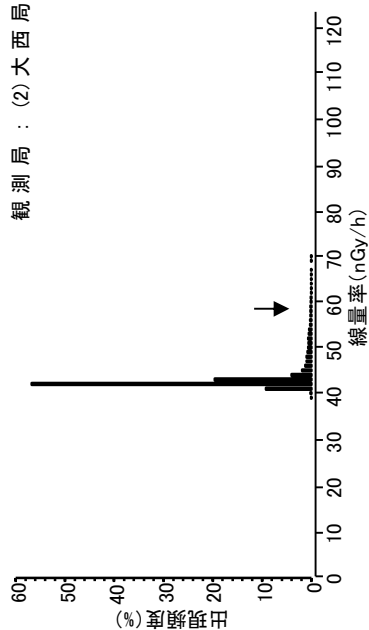
観測局：(4)熊野局



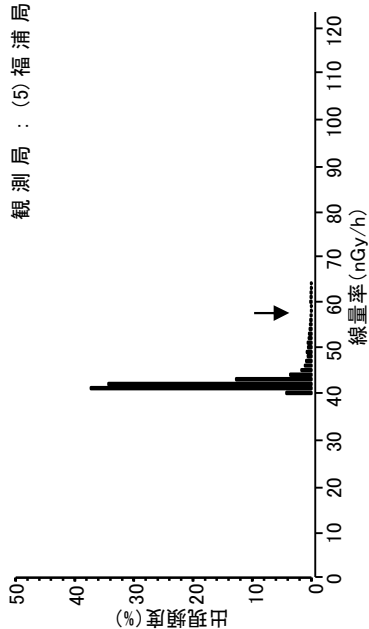
観測局：(7)五里峠局



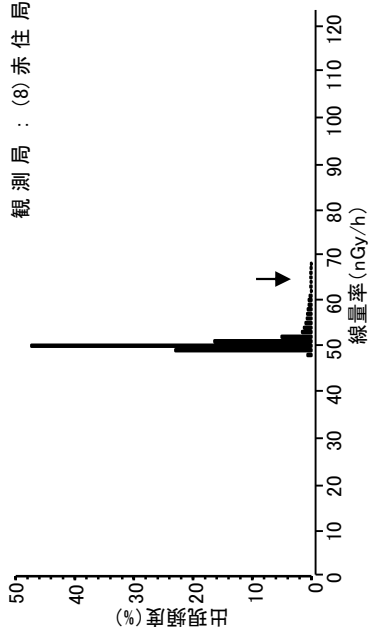
観測局：(2)大西局



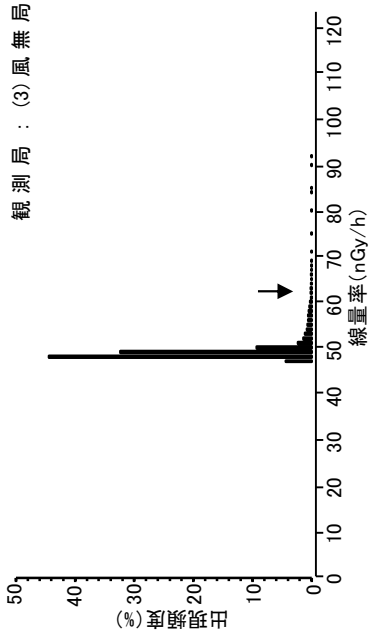
観測局：(5)福浦局



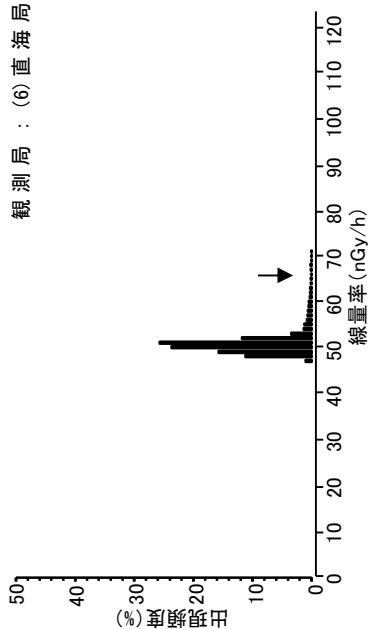
観測局：(8)赤住局



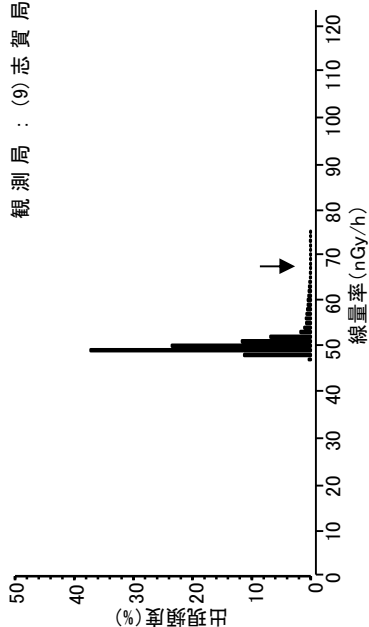
観測局：(3)風無局



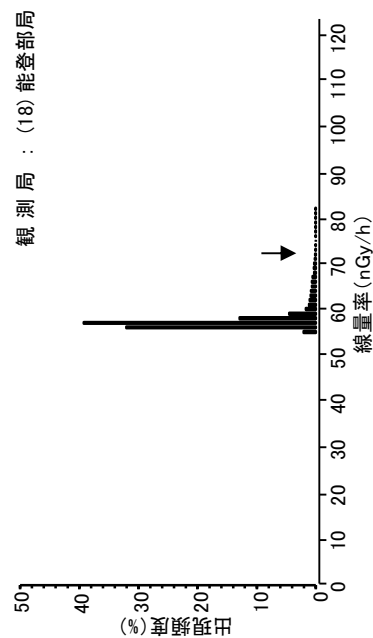
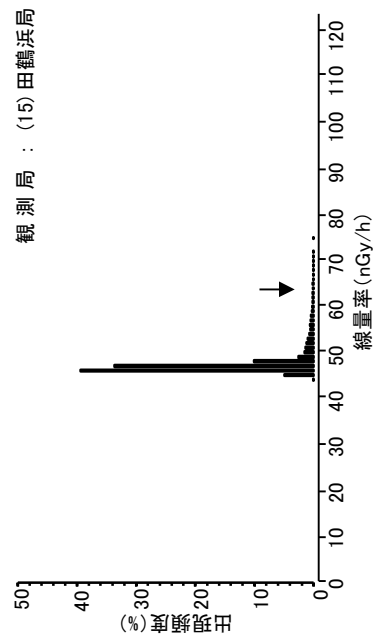
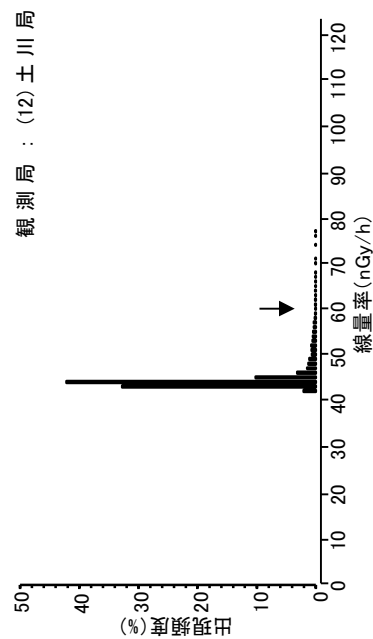
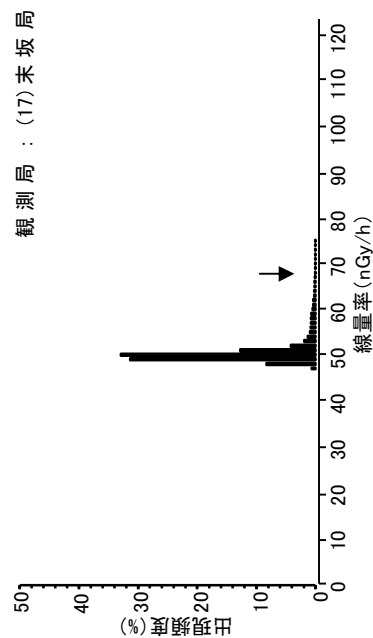
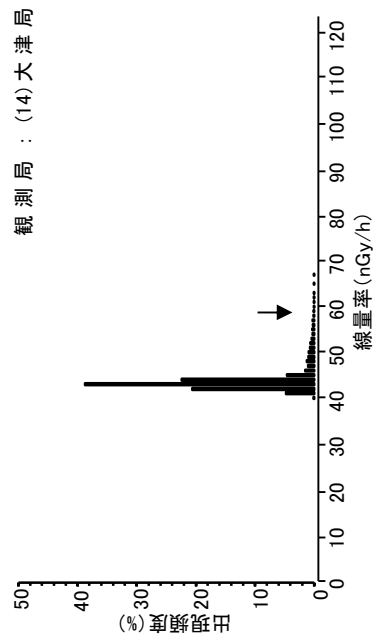
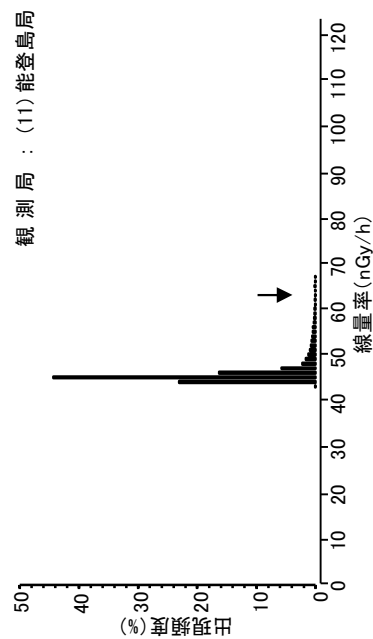
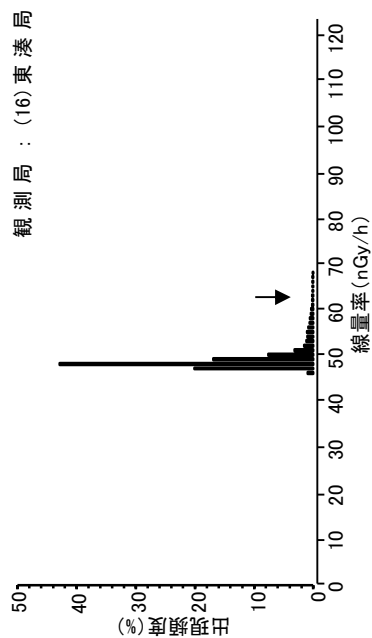
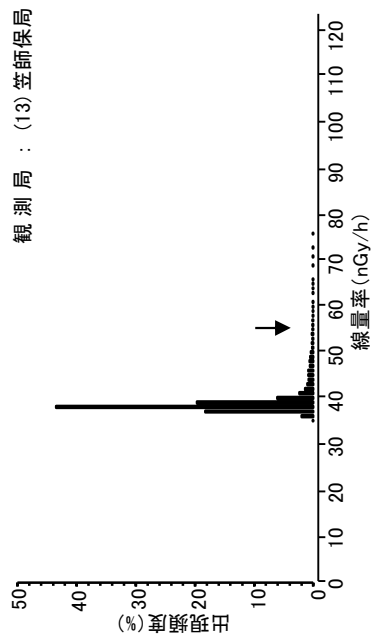
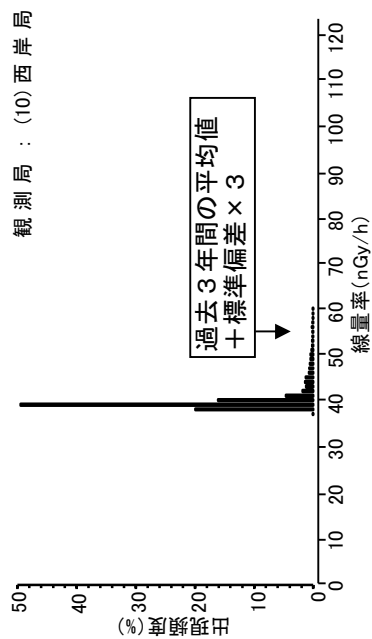
観測局：(6)直海局



観測局：(9)志賀局

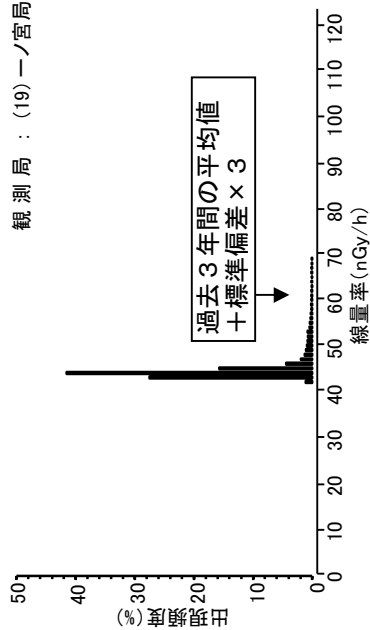


線量率の出現頻度

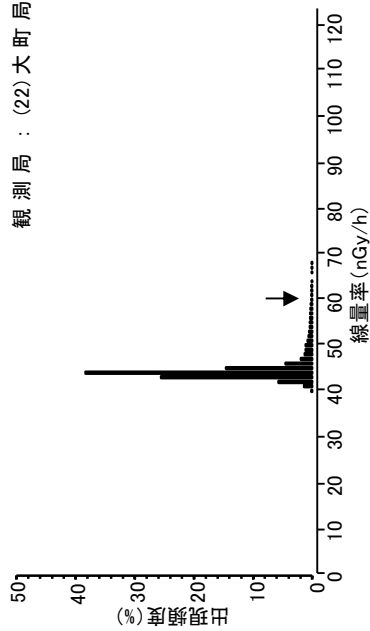


線量率の出現頻度

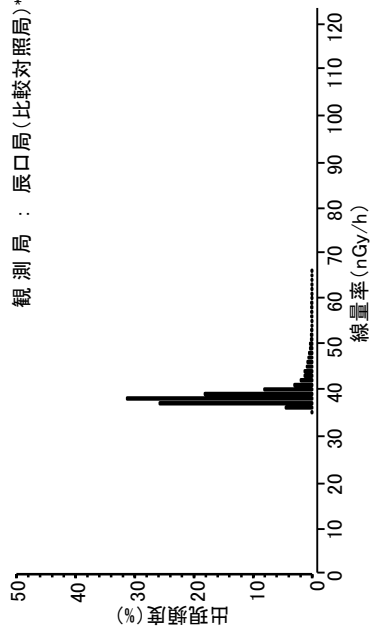
観測局：(19)一ノ宮局



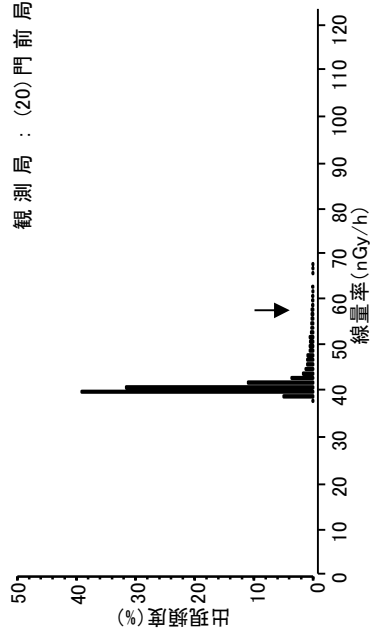
観測局：(22)大町局



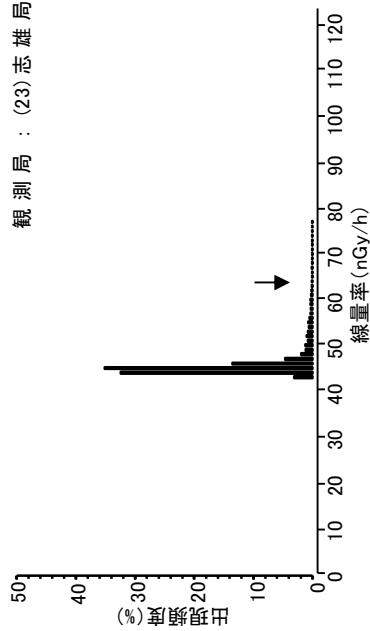
観測局：辰口局(比較対照局)*



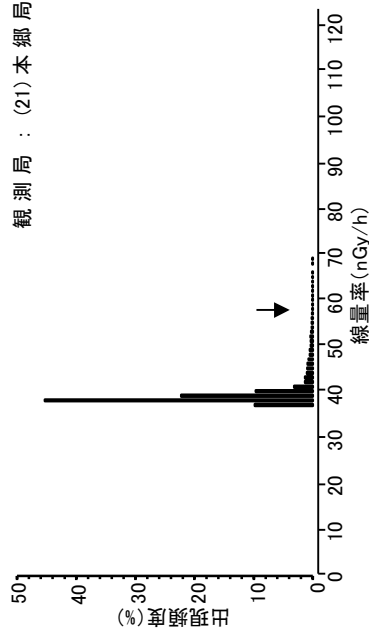
観測局：(20)門前局



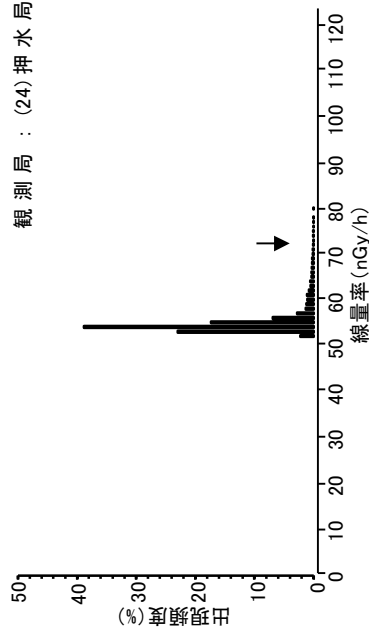
観測局：(23)志雄局



観測局：(21)本郷局

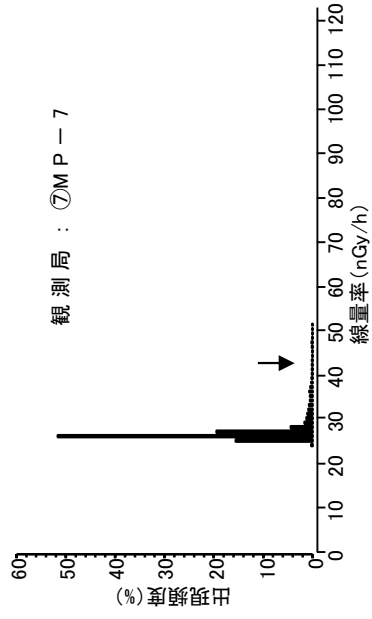
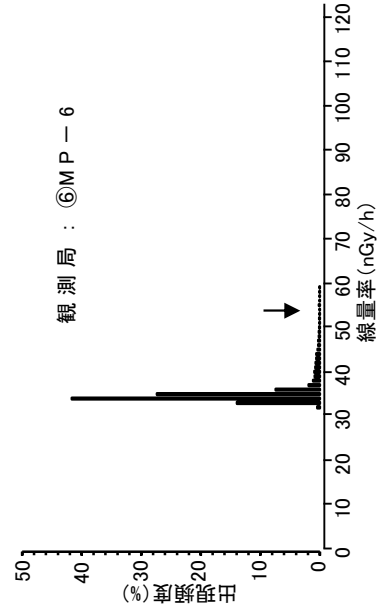
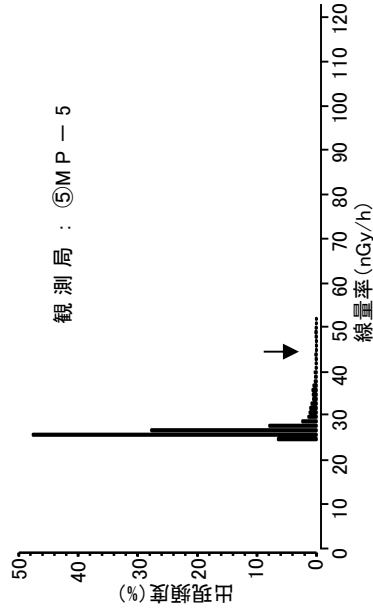
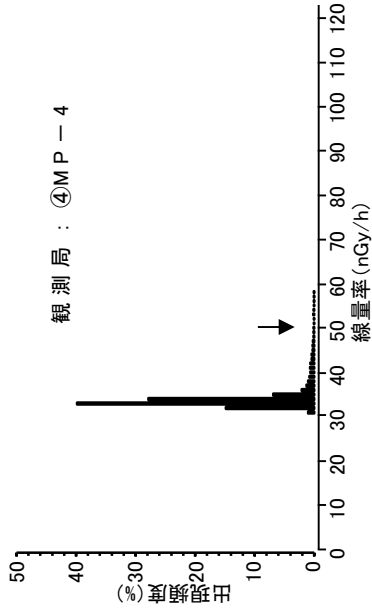
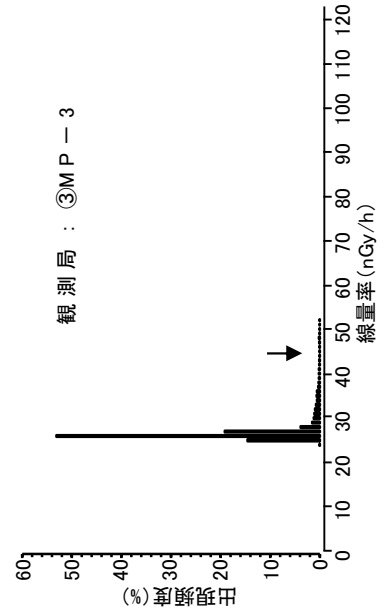
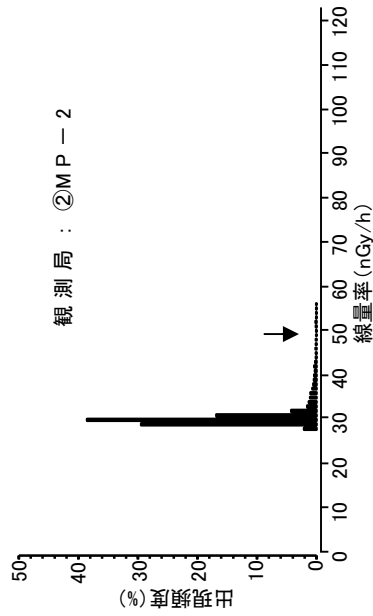
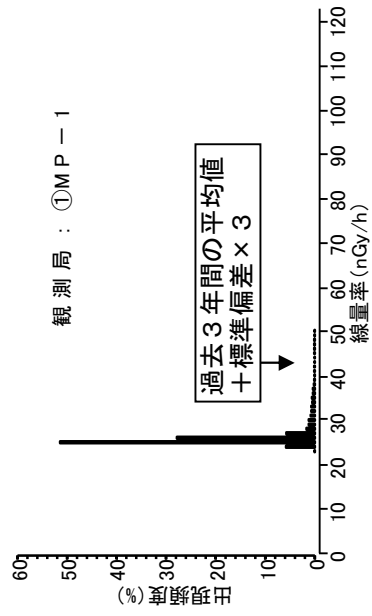


観測局：(24)押水局

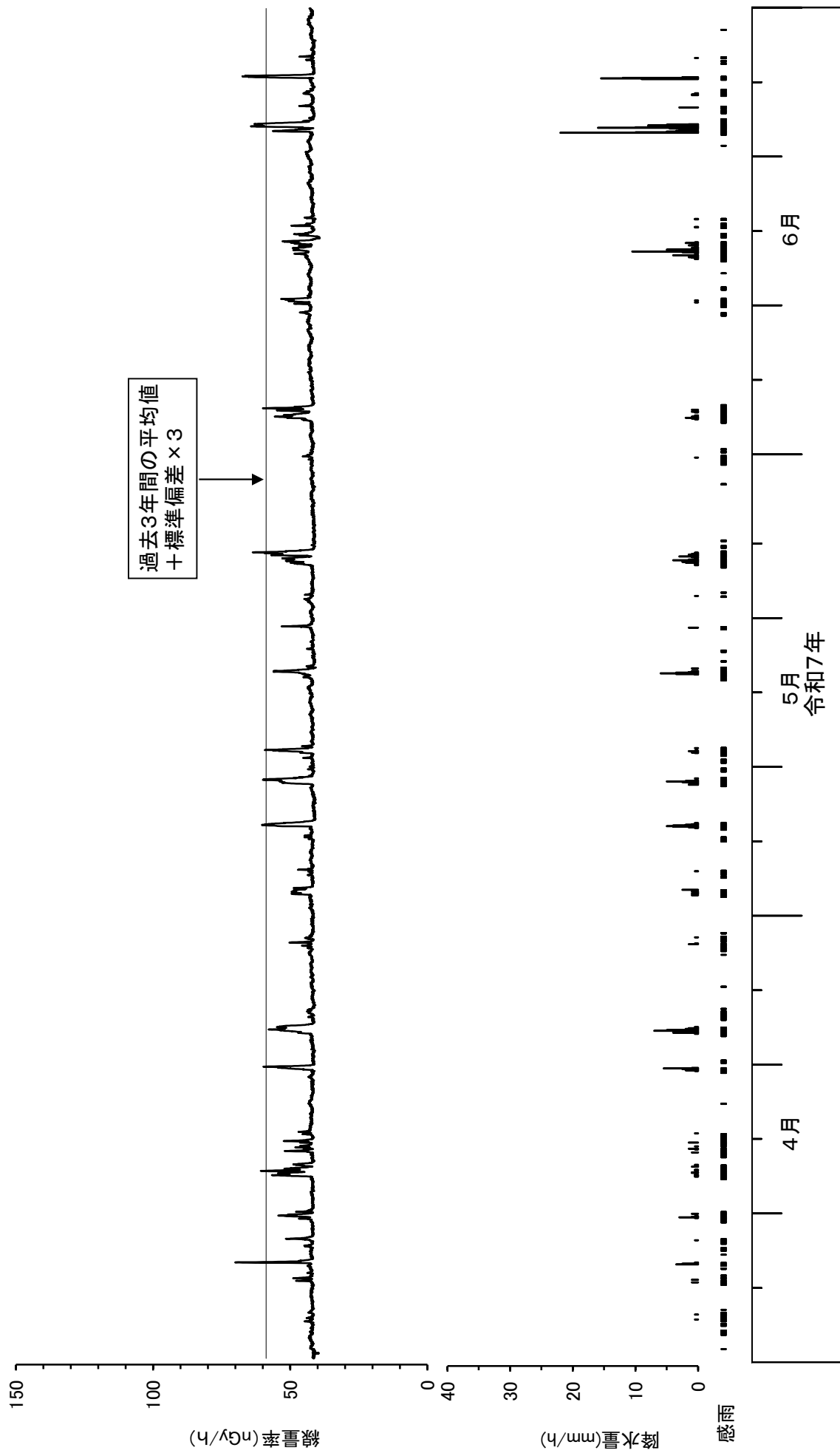


*：辰口局は令和6年3月の測定器更新に伴い、測定器の位置等が変化したため、「過去3年間の平均値+標準偏差×3」については表示なし

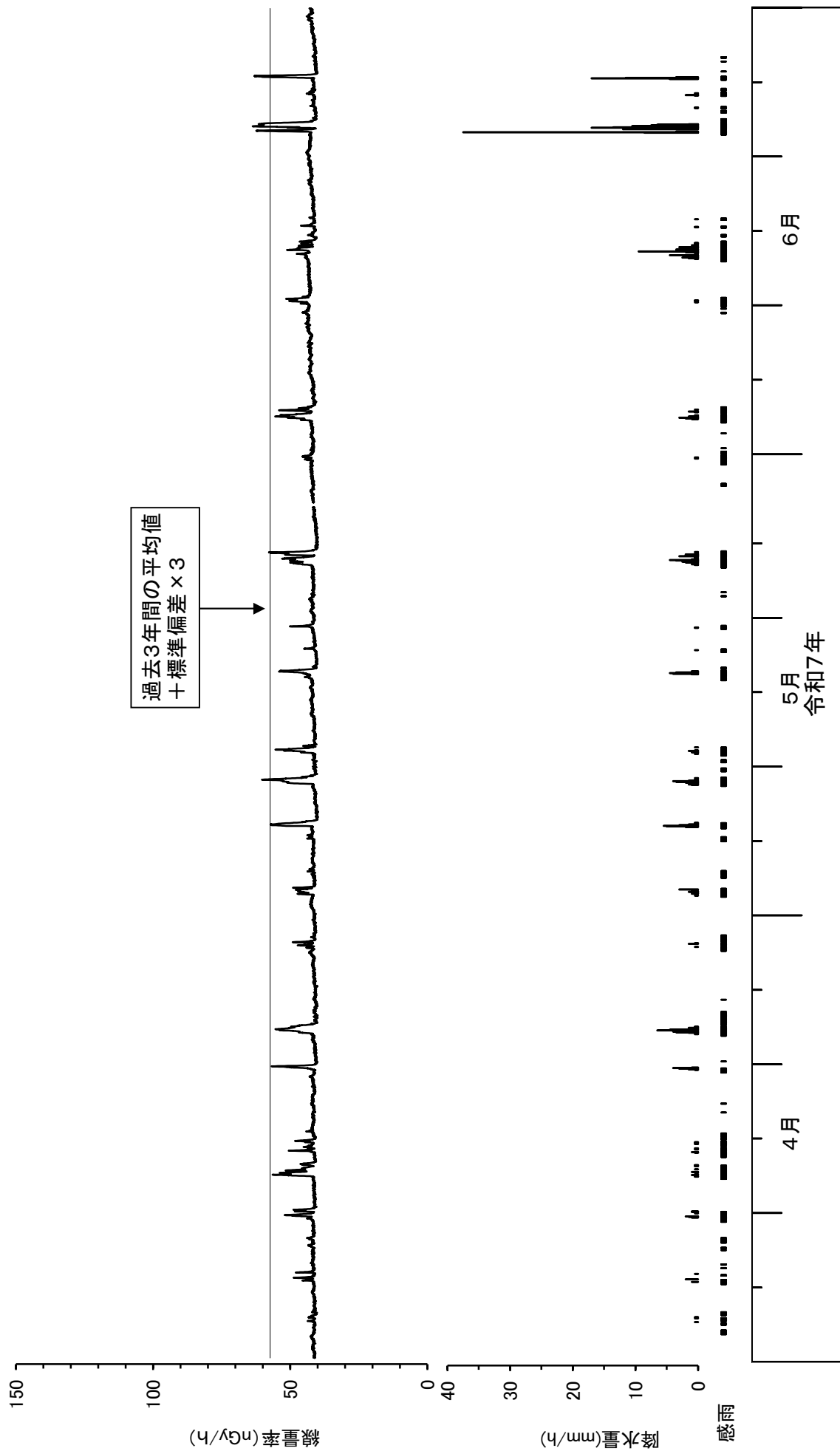
線量率の出現頻度



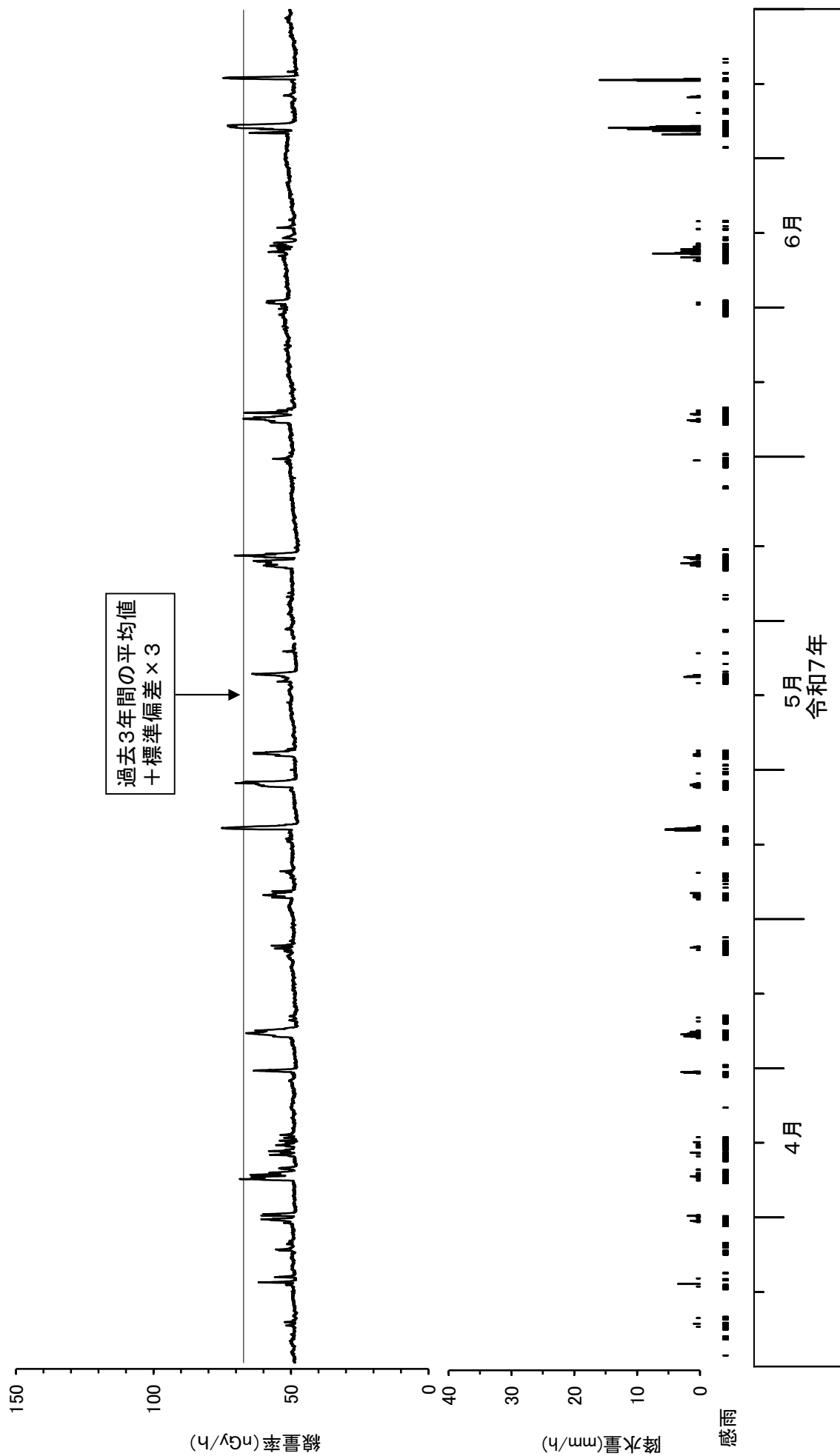
線量率と降水量の関係(大西局)



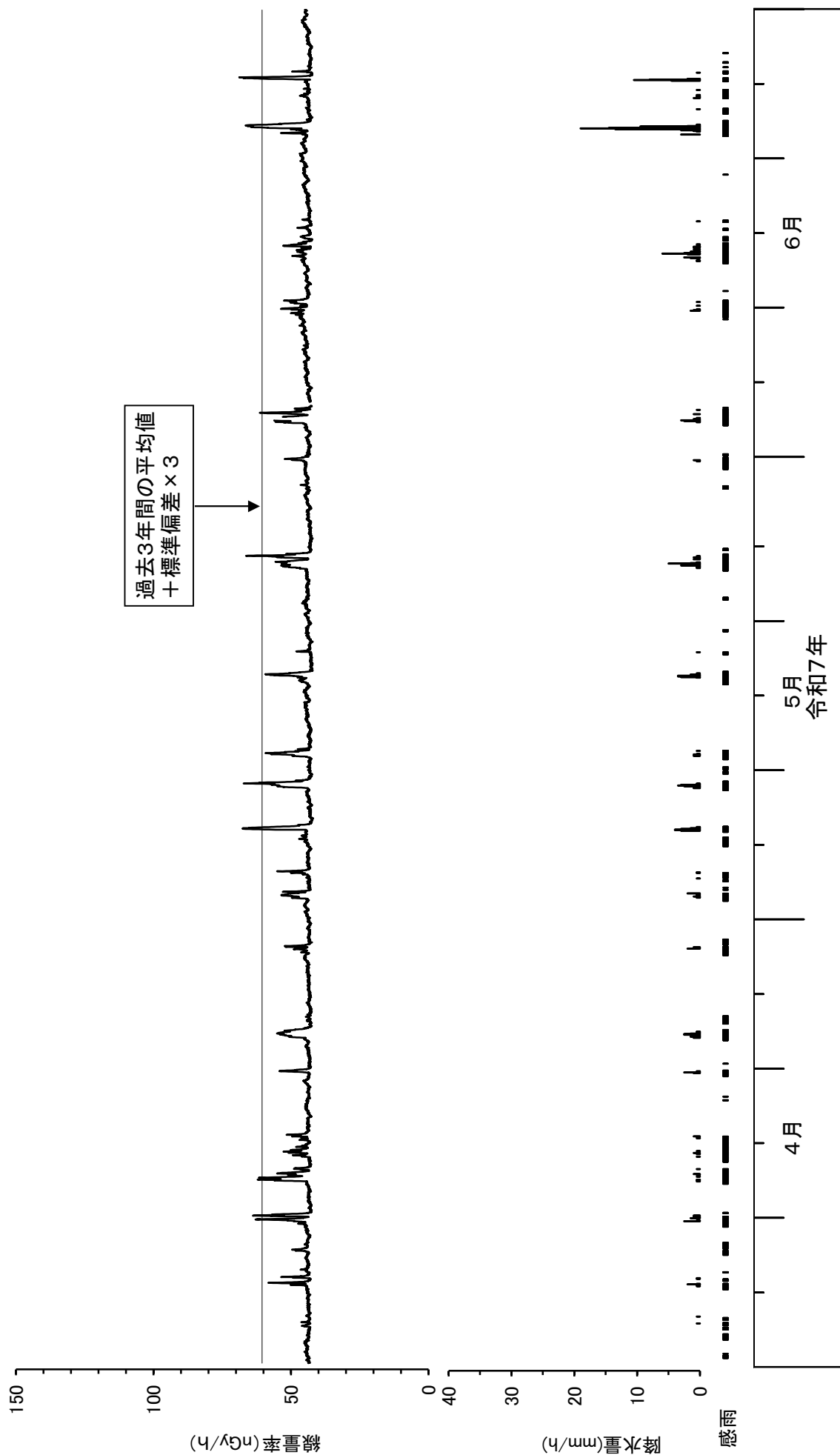
線量率と降水量の関係(福浦局)



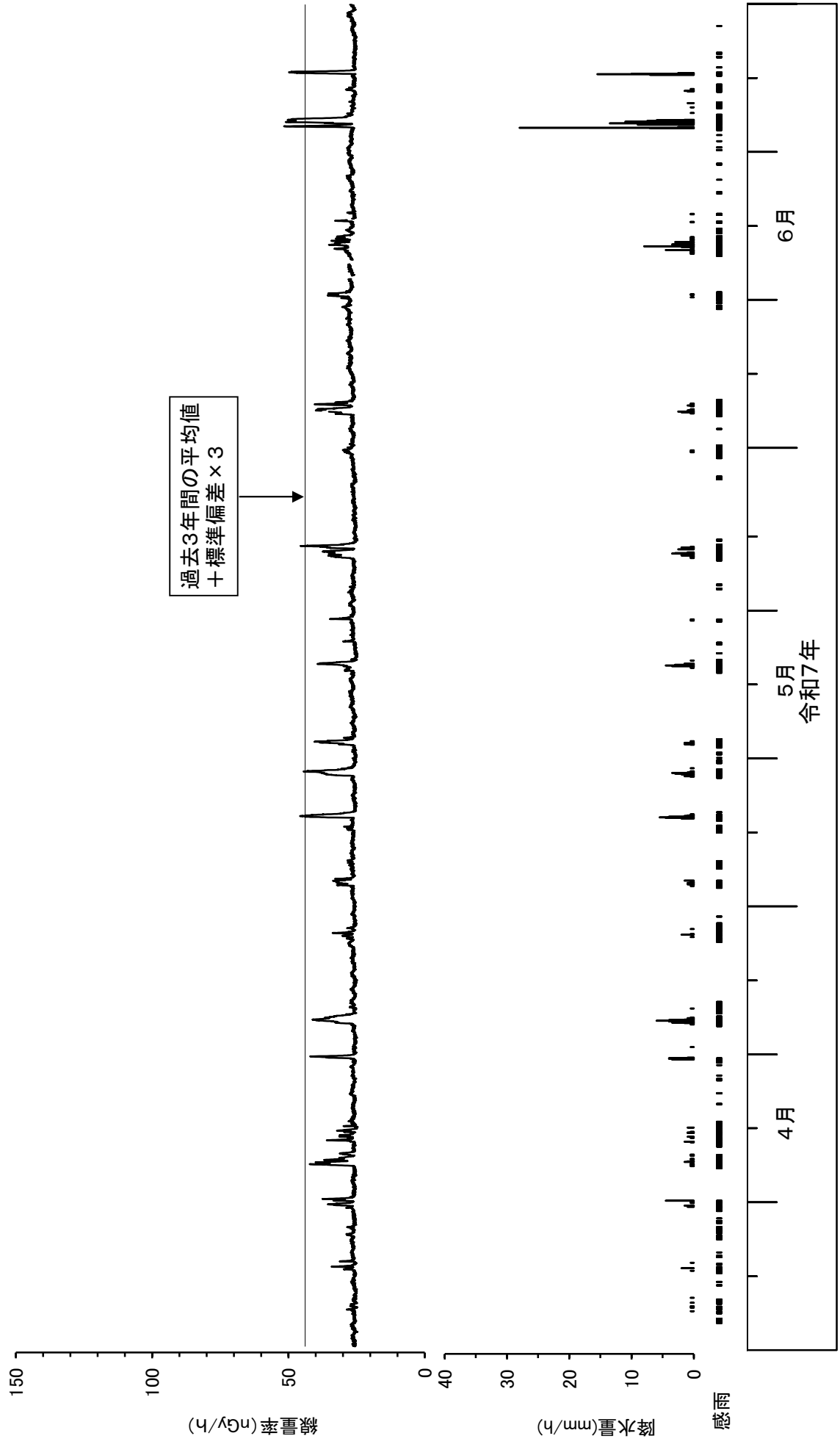
線量率と降水量の関係(志賀局)



線量率と降水量の関係(一ノ宮局)



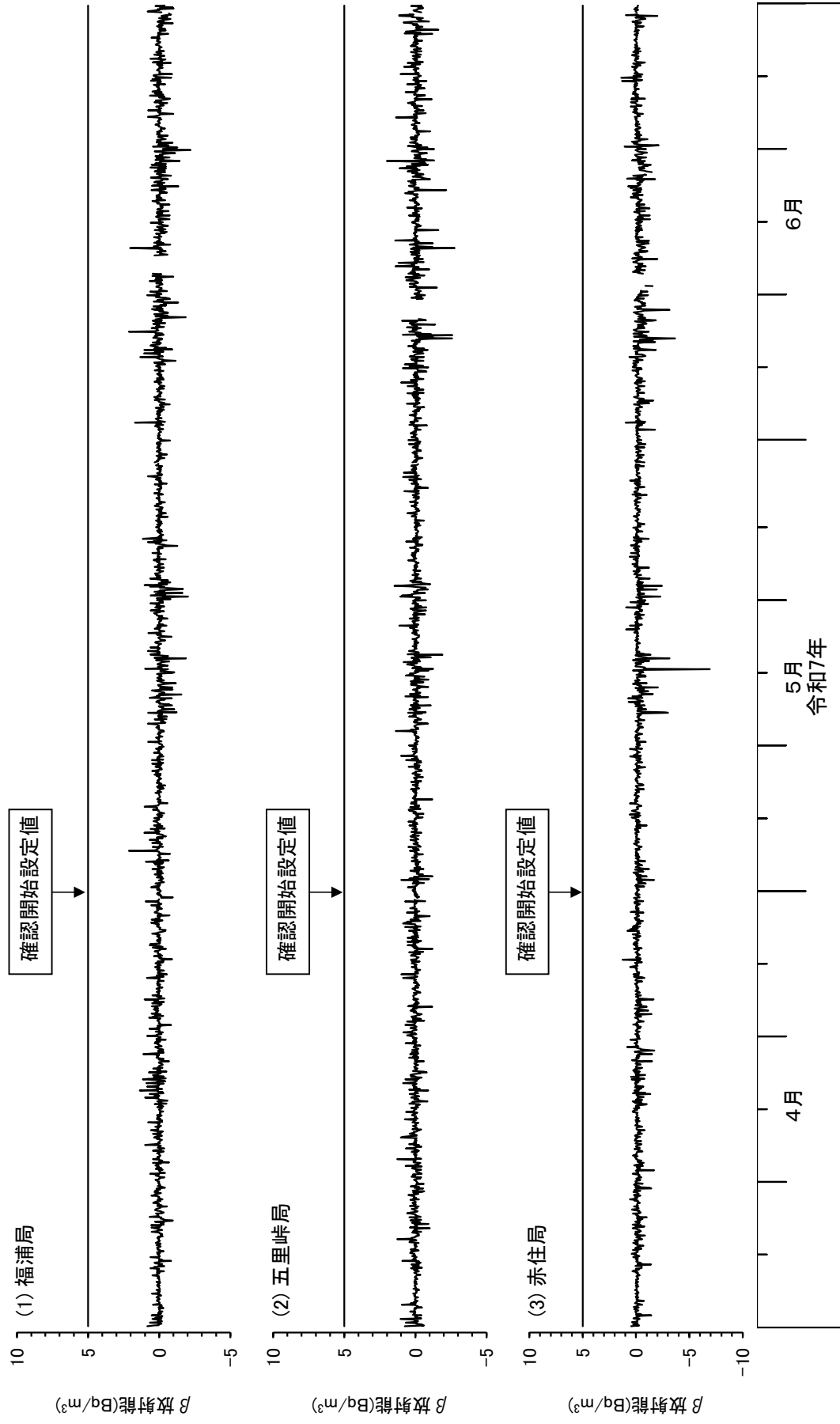
線量率と降水量の関係 (MP-5)



2 環境試料中の放射能

(1) 大気中放射性物質

a 大気浮遊じん(β放射能)の変動状況



(1) 大気中放射性物質(つづき)

b 大気浮遊じん(全 β 放射能)

北陸電力実施分

単位:Bq/m³

測定地点	測定年月	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (R4.4～R7.3)
MP-2	令和7年4月	6.5	0.49	2.4	0.07～11
	5月	11	0.80	2.7	
	6月	11	0.27	3.6	
	期 間	11	0.27	2.9	
MP-6	令和7年4月*	5.6	0.77	2.2	0.06～12
	5月	9.5	0.74	2.3	
	6月	11	0.42	3.3	
	期 間	11	0.42	2.6	

(注) 吸引口高さ:地上高2.5m

*:ヒータ故障に伴う欠測(4月1日～4月15日、欠測期間中の代替測定結果:1.0～10Bq/m³)

c 放射性ヨウ素

石川県実施分

単位:Bq/m³

測定地点	捕集年月	測定回数	空気吸引量 (m ³ /回)	¹³¹ I	過去の測定結果 (測定範囲) (R4.4～R7.3)
福浦局	令和7年4月 (R7.3.31～R7.4.28)	4	477 ～ 494	ND	ND
	5月 (R7.4.28～R7.5.26)	4	477 ～ 495	ND	
	6月 (R7.5.26～R7.6.30)	4*	501 ～ 530	ND	
	期間	12	477 ～ 530	ND	
五里峠局	令和7年4月 (R7.3.31～R7.4.28)	4	486 ～ 523	ND	ND
	5月 (R7.4.28～R7.5.26)	4	477 ～ 501	ND	
	6月 (R7.5.26～R7.6.30)	4*	505 ～ 540	ND	
	期間	12	477 ～ 540	ND	
赤住局	令和7年4月 (R7.3.31～R7.4.28)	4	469 ～ 533	ND	ND
	5月 (R7.4.28～R7.5.26)	4	469 ～ 491	ND	
	6月 (R7.5.26～R7.6.30)	4*	493 ～ 505	ND	
	期間	12	469 ～ 533	ND	

(注)「ND」は検出下限値未満である。

1回の捕集時間は、月曜日9時から翌週月曜日9時までの1週間である。

測定値は、捕集終了から3時間経過後に10分間測定した値である。

*:測定機器点検のため、令和7年6月16日から6月23日まで欠測

(2) 核種分析（機器分析）

a 降下物（雨水ちり）

単位：Bq/m²・月（30日換算値）

採取地点	採取期間	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
		¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
志賀町安部屋 （志賀局） 石川県実施分	7. 3. 28～7. 4. 30	L T D	L T D	144. 0±0. 9	1. 3±0. 2	L T D	L T D	L T D	L T D
	7. 4. 30～7. 5. 30	L T D	L T D	101. 0±0. 8	0. 8±0. 2	～	～	～	～
	7. 5. 30～7. 6. 30	L T D	L T D	137. 2±0. 9	N D	0. 23	29 ^{*2}	28 ^{*2}	0. 22
志賀町福浦港 （福浦局） 石川県実施分	7. 3. 28～7. 4. 30	L T D	L T D	86. 4±0. 7	5. 0±0. 3	L T D	L T D	L T D	
	7. 4. 30～7. 5. 30	L T D	L T D	56. 0±0. 6	3. 7±0. 2	～	～	～	L T D
	7. 5. 30～7. 6. 30	L T D	L T D	36. 0±0. 5	1. 3±0. 2	0. 28	27 ^{*2}	26 ^{*2}	
金沢市太陽が丘 （保健環境センター） 石川県実施分 （比較対象地点）	7. 3. 28～7. 4. 30	L T D	L T D	143. 0±0. 9	2. 3±0. 2	L T D	L T D	L T D	
	7. 4. 30～7. 5. 30	L T D	L T D	160±1	1. 4±0. 2	～	～	～	L T D
	7. 5. 30～7. 6. 30	L T D	L T D	63. 6±0. 6	N D	0. 51 ^{*3}	13 ^{*2}	12 ^{*2}	
発電所敷地内 北陸電力実施分	7. 4. 1～7. 5. 2	L T D	L T D	142±1	2. 3±0. 3		L T D	L T D	
	7. 5. 2～7. 6. 2	L T D	L T D	81. 6±0. 9	5. 2±0. 4	L T D	～	～	L T D
	7. 6. 2～7. 7. 1	L T D	L T D	127±1	3. 0±0. 3		30. 2 ^{*2}	29. 7 ^{*2}	
志賀町福浦港 北陸電力実施分	7. 4. 1～7. 5. 2	L T D	L T D	157±1	1. 7±0. 3	L T D	L T D	L T D	
	7. 5. 2～7. 6. 2	L T D	L T D	95±1	3. 5±0. 4	～	～	～	L T D
	7. 6. 2～7. 7. 1	L T D	L T D	185±1	1. 7±0. 3	0. 23	24. 3 ^{*2}	24. 1 ^{*2}	

（注）「L T D」は検出目標レベル未満である。

「N D」は検出下限値未満である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。^{*3}：平成4年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成4年3月の採取地点（金沢市三馬）での測定結果はL T D～0. 20Bq/m²・月

(2) 核種分析（機器分析）（つづき）
 b 大気中放射性物質（大気浮遊じん）

単位：mBq/m³

採取地点	採取期間	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
		¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
志賀町福浦港 （福浦局） 石川県実施分 （ ⁹⁰ ストンプラー法）	7. 3. 28～ 7. 4. 30	L T D	L T D	3. 92±0. 07	0. 43±0. 06	— ^{*2}	— ^{*2}	— ^{*2}	L T D ^{*2}
	7. 4. 30～ 7. 5. 30	L T D	L T D	4. 43±0. 09	N D				
	7. 5. 30～ 7. 6. 30	L T D	L T D	3. 65±0. 08	0. 26±0. 08				
志賀町五里峠 （五里峠局） 石川県実施分 （ ⁹⁰ ストンプラー法）	7. 3. 28～ 7. 4. 30	L T D	L T D	3. 74±0. 07	N D	— ^{*2}	— ^{*2}	— ^{*2}	L T D ^{*2}
	7. 4. 30～ 7. 5. 30	L T D	L T D	4. 31±0. 09	N D				
	7. 5. 30～ 7. 6. 30	L T D	L T D	3. 48±0. 07	0. 37±0. 07				
志賀町赤住 （赤住局） 石川県実施分 （ ⁹⁰ ストンプラー法）	7. 3. 28～ 7. 4. 30	L T D	L T D	4. 18±0. 08	N D	— ^{*2}	— ^{*2}	— ^{*2}	L T D ^{*2}
	7. 4. 30～ 7. 5. 30	L T D	L T D	4. 63±0. 09	N D				
	7. 5. 30～ 7. 6. 30	L T D	L T D	3. 79±0. 08	0. 36±0. 07				
志賀町三明 （熊野局） 石川県実施分 （ハイボ [®] リウムエアサンプラー法）	7. 3. 28～ 7. 4. 15	L T D	L T D	4. 27±0. 03	N D	— ^{*3}	— ^{*3}	— ^{*3}	L T D ^{*3}
	7. 4. 15～ 7. 4. 30	L T D	L T D	4. 56±0. 03	N D				
	7. 4. 30～ 7. 5. 15	L T D	L T D	5. 06±0. 03	N D				
	7. 5. 15～ 7. 5. 30	L T D	L T D	4. 28±0. 03	N D				
	7. 5. 30～ 7. 6. 16	L T D	L T D	4. 08±0. 03	N D				
	7. 6. 16～ 7. 6. 30	L T D	L T D	3. 94±0. 03	N D				
金沢市太陽が丘 （保健環境センター） 石川県実施分 （ハイボ [®] リウムエアサンプラー法） （比較対照地点）	7. 3. 28～ 7. 4. 15	L T D	L T D	4. 58±0. 03	N D	L T D ^{*4}	L T D ～ 0. 36 ^{*5}	L T D ～ 0. 42 ^{*5}	L T D
	7. 4. 15～ 7. 4. 30	L T D	L T D	5. 27±0. 03	N D				
	7. 4. 30～ 7. 5. 15	L T D	L T D	5. 27±0. 03	N D				
	7. 5. 15～ 7. 5. 30	L T D	L T D	4. 44±0. 03	N D				
	7. 5. 30～ 7. 6. 16	L T D	L T D	4. 31±0. 03	N D				
	7. 6. 16～ 7. 6. 30	L T D	L T D	4. 40±0. 03	N D				
発電所敷地内 （MP－2） 北陸電力実施分 （ ⁹⁰ ストンプラー法）	7. 4. 1～ 7. 4. 30	L T D	L T D	4. 28±0. 05	N D	L T D	L T D ～ 0. 44 ^{*5}	L T D ～ 0. 49 ^{*5}	L T D
	7. 5. 1～ 7. 5. 31	L T D	L T D	4. 33±0. 05	N D				
	7. 6. 1～ 7. 6. 30	L T D	L T D	4. 00±0. 05	N D				
発電所敷地内 （MP－6） 北陸電力実施分 （ ⁹⁰ ストンプラー法）	7. 4. 1～ 7. 4. 30	L T D	L T D	4. 92±0. 06	0. 31±0. 04	L T D	L T D ～ 0. 41 ^{*5}	L T D ～ 0. 46 ^{*5}	L T D
	7. 5. 1～ 7. 5. 31	L T D	L T D	4. 73±0. 05	N D				
	7. 6. 1～ 7. 6. 30	L T D	L T D	4. 01±0. 05	0. 16±0. 03				

（注）「L T D」は検出目標レベル未満である。

「N D」は検出下限値未満である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。

^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間

^{*2}：令和6年度からの測定結果。なお、平成2年7月～令和6年3月の採取地点（志賀町安部屋）での測定結果は¹³⁴CsがL T D～0. 42^{*5}mBq/m³、¹³⁷CsがL T D～0. 40^{*5}mBq/m³

^{*3}：令和6年度からの測定結果。なお、平成2年7月～令和6年3月の採取地点（志賀町福浦港）での測定結果は¹³⁴CsがL T D～0. 61^{*5}mBq/m³、¹³⁷CsがL T D～0. 54^{*5}mBq/m³

^{*4}：平成4年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成4年3月の採取地点（金沢市三馬）での測定結果はL T D

^{*5}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

(2) 核種分析（機器分析）（つづき）

c 陸水

単位：mBq/L

測定試料		採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
				^{137}Cs	その他の核種	^7Be	^{40}K	H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
								^{137}Cs	^{134}Cs	^{137}Cs	^{137}Cs
水道水	県	志賀町末吉	7. 4. 28	L T D	L T D	N D	96±7	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町富来領家	7. 4. 28	L T D	L T D	N D	38±6	L T D ^{*2}	L T D	L T D	L T D
	電	志賀町若葉台	7. 4. 7	L T D	L T D	N D	190±10	L T D	L T D	L T D	L T D
河川水	電	大 坪 川	7. 4. 7	L T D	L T D	N D	39±8	L T D	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「N D」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は ^{51}Cr 、 ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{58}Co 、 ^{60}Co 、 ^{134}Cs を表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成7年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成7年3月の採取地点（志賀町富来地頭）での測定結果はL T D

d 土壌

単位：Bq/kg乾土

採取地点		深さ (cm)	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
								H2. 7～H23. 2		H23. 3～H28. 3 ^{*1}	
				¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
電	発電所敷地内	0～5	7. 5. 16	24. 8±0. 4	L T D	6±2	267±6	50. 4～65. 4 ^{*2*3}	L T D	39. 7～65. 2 ^{*2*3}	21. 6～52. 0 ^{*2}
	志賀町赤住	0～5	7. 5. 14	32. 1±0. 5	L T D	7±2	387±7	47. 2～50. 5 ^{*2*4}	L T D	41. 8～62. 6 ^{*2*4}	28. 0～51. 0 ^{*2}

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は ^{51}Cr 、 ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{58}Co 、 ^{60}Co 、 ^{134}Cs を表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成22年9月からの測定結果（平成22年9月に同一箇所を掘り下げる採取方法から採取箇所が重複しない方法に変更）^{*3}：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果はL T D～87. 6Bq/kg乾土^{*4}：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果は3. 1～83. 2Bq/kg乾土

e 指標植物（松葉）

単位：Bq/kg生

採取地点		採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
			¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
							¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
県	志賀町若葉台	7. 6. 2	L T D	L T D	62. 4±0. 3	49. 6±0. 4	L T D	L T D ～2. 2 ^{*2}	L T D ～2. 3 ^{*2}	L T D
	志賀町相神	7. 6. 2	L T D	L T D	50. 6±0. 4	45. 5±0. 5	— ^{*3}	— ^{*4}	— ^{*4}	L T D ^{*5}
電	発電所敷地内	7. 5. 13	L T D	L T D	58. 6±0. 3	64. 6±0. 5	L T D～1. 08	L T D ～2. 85 ^{*2}	L T D ～2. 98 ^{*2}	L T D
	志賀町赤住	7. 5. 14	L T D	L T D	55. 2±0. 3	58. 8±0. 4	L T D～0. 79	L T D ～2. 24 ^{*2}	L T D ～2. 52 ^{*2}	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は ^{51}Cr 、 ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{58}Co 、 ^{60}Co 、 ^{134}Cs を表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。^{*3}：平成2年7月～平成9年3月の採取地点（志賀町三明）および平成9年4月～平成23年2月の採取地点（志賀町谷神）での測定結果はL T D^{*4}：平成23年3月～平成28年3月の採取地点（志賀町谷神）での測定結果は ^{134}Cs 、 ^{137}Cs ともにL T D～2. 7^{*2}Bq/kg生^{*5}：令和5年度からの測定結果。なお、平成28年4月～平成30年3月の採取地点（志賀町谷神）および平成30年4月～令和5年3月の

採取地点（志賀町福浦港）での測定結果はL T D

(2) 核種分析（機器分析）（つづき）

f 農畜産物

単位：Bq/L

測定試料		採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
								H2. 7～H23. 2		H23. 3～H28. 3 ^{*1}	
				¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
牛乳	県	志賀町西海久喜	7. 5. 15	L T D	L T D	N D	54. 3±0. 3	L T D ^{*2}	L T D	L T D	L T D
	電	志賀町西海久喜	7. 5. 20	L T D	L T D	N D	47. 0±0. 3	L T D ^{*2}	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月～平成10年8月の採取地点(志賀町安部屋)での測定結果はL T D

g 海水

単位：mBq/L

採取地点		採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
							H2. 7～H23. 2		H23. 3～H28. 3 ^{*1}	
			¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
電	1号機放水口付近	7. 5. 22	L T D	L T D			L T D～4. 3	L T D	L T D ～2. 7	L T D
	2号機放水口付近	7. 5. 22	L T D	L T D			L T D～2. 4 ^{*2}	L T D	L T D ～2. 3	L T D～2. 5
	志賀町赤住 (江野)地先	7. 5. 22	L T D	L T D			L T D～3. 9	L T D	L T D ～2. 5	L T D～2. 4
	志賀町福浦港 (丹和)地先	7. 5. 22	L T D	L T D			L T D～4. 0	L T D	L T D ～2. 6	L T D～2. 3

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成15年度からの測定結果

(2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

h 海底土

単位: Bq/kg乾土

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
		¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
電	1号機放水口付近	7. 5. 28	L T D	L T D	8±1	684±8	L T D	L T D	L T D
	2号機放水口付近	7. 5. 28	L T D	L T D	7±1	695±8	L T D ^{*2}	L T D	L T D
	志賀町赤住 (江野)地先	7. 5. 28	L T D	L T D	ND	683±8	L T D	L T D	L T D
	志賀町福浦港 (丹和)地先	7. 5. 28	L T D	L T D	6±1	697±8	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*1}: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}: 平成15年度からの測定結果

i 指標海産物 (ホンダワラ)

単位: Bq/kg生

採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 [*]	H28. 4～R7. 3	
		¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
県	志賀町赤住地先	7. 4. 7	L T D	L T D	4. 0±0. 3	264±2	L T D	L T D	L T D
	志賀町百浦地先	7. 4. 22	L T D	L T D	4. 9±0. 3	321±2	L T D	L T D	L T D
	志賀町福浦港 (丹和)地先	7. 4. 10	L T D	L T D	ND	279±2	L T D～0. 20	L T D	L T D
	志賀町福浦港 (水之瀬)地先	7. 4. 10	L T D	L T D	5. 6±0. 3	291±2	L T D～0. 30	L T D	L T D
電	志賀町赤住 (赤住)地先	7. 4. 7	L T D	L T D	0. 6±0. 1	176±1	L T D	L T D	L T D
	志賀町赤住 (江野)地先	7. 4. 7	L T D	L T D	4. 0±0. 2	204±1	L T D	L T D	L T D
	志賀町福浦港 (丹和)地先	7. 4. 10	L T D	L T D	1. 3±0. 2	292±2	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*}: 福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間

(2) 核種分析（機器分析）（つづき）

j 海産物

単位：Bq/kg生

測定試料		採取地点	採取年月日	人工放射性核種		天然放射性核種		過去の測定結果			
								H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3	
				¹³⁷ Cs	その他の核種	⁷ Be	⁴⁰ K	¹³⁷ Cs	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs
ワカメ	県	志賀町 赤住地先	7. 5. 8	L T D	L T D	1. 8±0. 2	202±1	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町 吉良地先	7. 4. 22	L T D	L T D	1. 0±0. 2	202±1	L T D	L T D	L T D	L T D
	電	志賀町 赤住地先	7. 5. 8	L T D	L T D	2. 6±0. 2	239±1	L T D	L T D	L T D	L T D
サザエ	肉	志賀町 百浦地先	7. 5. 29	L T D	L T D	1. 3±0. 1	92. 9±0. 7	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町 吉良地先	7. 5. 14	L T D	L T D	2. 4±0. 1	97. 1±0. 7	L T D	L T D	L T D	L T D
	電	志賀町 赤住地先	7. 6. 5	L T D	L T D	0. 91±0. 08	81. 5±0. 6	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町 百浦地先	7. 5. 29	L T D	L T D	6. 7±0. 2	83. 3±0. 9	L T D～0. 22	L T D	L T D	L T D
	内臓	志賀町 吉良地先	7. 5. 14	L T D	L T D	17. 7±0. 4	105±1	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町 赤住地先	7. 6. 5	L T D	L T D	7. 0±0. 2	94. 9±0. 8	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町 赤住地先	7. 6. 5	L T D	L T D	7. 0±0. 2	94. 9±0. 8	L T D	L T D	L T D	L T D
マガレイ	肉	電	志加浦沖	7. 5. 14	L T D	L T D	ND	119. 4±0. 5	L T D	L T D	L T D
チダイ	肉	県	富来沖	7. 5. 7	L T D	L T D	ND	137. 9±0. 7	L T D	L T D	L T D
メバル	肉	県	志加浦沖	7. 5. 14	L T D	L T D	ND	120. 0±0. 6	L T D～0. 27	L T D	L T D
		県	富来沖	7. 4. 20	L T D	L T D	ND	119. 7±0. 6	L T D～0. 29	L T D	L T D
ヒラメ	肉	県	富来沖	7. 5. 21	L T D	L T D	ND	134. 9±0. 6	L T D～0. 21	L T D	L T D
カワハギ	肉	県	富来沖	7. 5. 7	L T D	L T D	ND	131. 2±0. 8	— ^{*2}	— ^{*2}	— ^{*2}

（注）「L T D」は検出目標レベル未満である。

「ND」は検出下限値未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

「その他の核種」は⁵¹Cr、⁵⁴Mn、⁵⁹Fe、⁵⁸Co、⁶⁰Co、¹³⁴Csを表す。^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：令和6年度からの測定結果

(2) 核種分析 (機器分析) (つづき)

k 放射性ヨウ素

単位：牛乳はBq/L、その他はBq/kg生

測定試料		採取地点	採取年月日	¹³¹ I	過去の測定結果		
					H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3
牛 乳	県	志賀町西海久喜	7. 5. 15	L T D	L T D ^{*2}	L T D	L T D
	電	志賀町西海久喜	7. 5. 20	L T D	L T D ^{*2}	L T D	L T D
指標海産物 (ホンダワラ)	県	志賀町赤住地先	7. 4. 7	L T D	L T D	L T D～3. 21 ^{*3}	L T D
		志賀町百浦地先	7. 4. 22	L T D	L T D～0. 21	L T D～2. 02 ^{*3}	L T D
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	7. 4. 10	L T D	L T D	L T D～0. 33 ^{*3}	L T D
		志賀町福浦港 (水之瀬) 地先	7. 4. 10	L T D	L T D	L T D～1. 49 ^{*3}	L T D
	電	志賀町赤住 (赤住) 地先	7. 4. 7	L T D	L T D	L T D～0. 35 ^{*3}	L T D
		志賀町赤住 (江野) 地先	7. 4. 7	L T D	L T D	L T D	L T D
		志賀町福浦港 (丹和) 地先	7. 4. 10	L T D	L T D	L T D	L T D
ワカメ	県	志賀町赤住地先	7. 5. 8	L T D	L T D	L T D～1. 61 ^{*3}	L T D
		志賀町吉良地先	7. 4. 22	L T D	L T D	L T D	L T D
	電	志賀町赤住地先	7. 5. 8	L T D	L T D	L T D～1. 54 ^{*3}	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月～平成10年8月の採取地点（志賀町安部屋）での測定結果はL T D^{*3}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。

(3) 核種分析 (放射化学分析)

a 放射性ストロンチウム

単位：土壌、海底土はBq/kg乾土、牛乳はBq/L、メバルはBq/kg生

測定試料			採取地点	採取年月日	⁹⁰ Sr	過去の測定結果		
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R6. 12
土 壌	電		発電所敷地内	7. 2. 17	0. 7±0. 1	2. 3～3. 5 ^{*2*} ³	1. 8～3. 9 ^{*2*} ³	0. 4～2. 9 ^{*2}
			志賀町赤住	7. 2. 17	0. 7±0. 1	1. 1～1. 8 ^{*2*} ⁴	0. 8～2. 0 ^{*2*} ⁴	0. 5～1. 4 ^{*2}
牛 乳	県		志賀町西海久喜	7. 2. 18	L T D	L T D～0. 030 ^{*5}	L T D～0. 024 ^{*6}	L T D
海底土	電		1号機放水口付近	7. 3. 24	L T D	L T D	L T D	L T D
			2号機放水口付近	7. 3. 24	L T D	L T D ^{*7}	L T D	L T D
			志賀町赤住 (江野) 地先	7. 3. 24	L T D	L T D	L T D	L T D
			志賀町福浦港 (丹和) 地先	7. 3. 24	L T D	L T D	L T D	L T D
メバル	肉	県	志加浦沖	7. 1. 4	L T D	L T D	L T D	L T D

(注) 「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成22年9月からの測定結果（平成22年9月に同一箇所を掘り下げる採取方法から採取箇所が重複しない方法に変更）^{*3}：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果は0. 7～12. 5Bq/kg乾土^{*4}：平成2年7月～平成25年3月の同一箇所での掘り下げ採取方法での測定結果はL T D～6. 0Bq/kg乾土^{*5}：平成10年12月からの測定結果。なお、平成2年7月～平成10年8月の採取地点（志賀町安部屋）での測定結果はL T D～0. 039Bq/L^{*6}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される。^{*7}：平成15年度からの測定結果

(3) 核種分析（放射化学分析）（つづき）

b トリチウム

単位：Bq/L

測定試料			採取地点	採取年月日	³ H	過去の測定結果		
						H2. 7～H23. 2	H23. 3～H28. 3 ^{*1}	H28. 4～R7. 3
陸水	水道水	県	志賀町末吉	7. 4. 28	L T D	L T D～1. 9	L T D	L T D
			志賀町富来領家	7. 4. 28	L T D	L T D～1. 3 ^{*2}	L T D	L T D
		電	志賀町若葉台	7. 4. 7	L T D	L T D	L T D	L T D
	河川水	電	大 坪 川	7. 4. 7	L T D	L T D～1. 5	L T D	L T D
海 水		電	1 号機放水口付近	7. 5. 22	L T D	L T D	L T D	L T D
			2 号機放水口付近	7. 5. 22	L T D	L T D ^{*3}	L T D	L T D
			志賀町赤住 (江野) 地先	7. 5. 22	L T D	L T D	L T D	L T D
			志賀町福浦港 (丹和) 地先	7. 5. 22	L T D	L T D	L T D	L T D

（注）「L T D」は検出目標レベル未満である。

「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

^{*1}：福島第一原子力発電所の事故によるものと推定される測定値を含む期間^{*2}：平成7年度からの測定結果。なお、平成2年7月～平成7年3月の採取地点（志賀町富来地頭）での測定結果はL T D～1.6Bq/L^{*3}：平成15年度からの測定結果

3 気象要素
風向・風速

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
志賀町	(1) 大福寺局	7年 4月	北北東	4.1	1.1
		5月	北北東	4.7	0.9
		6月	北北東	4.2	0.7
		期 間	北北東	4.7	0.9
	(2) 大西局	7年 4月	西南西	11.0	2.6
		5月	東北東	10.6	2.1
		6月	西南西	8.2	2.0
		期 間	東北東	11.0	2.2
	(3) 風無局	7年 4月	西南西	12.4	2.6
		5月	北 東	9.1	2.1
		6月	北 東	6.9	1.8
		期 間	北 東	12.4	2.2
	(4) 熊野局	7年 4月	西北西	8.2	1.9
		5月	東南東	6.9	1.6
		6月	西	6.0	1.4
		期 間	西北西	8.2	1.6
	(5) 福浦局	7年 4月	南 東	3.9	1.6
		5月	南 東	2.9	1.1
		6月	南 東	2.7	0.8
		期 間	南 東	3.9	1.2
	(6) 直海局	7年 4月	西南西	9.1	2.0
		5月	北 西	6.5	1.9
		6月	北 西	5.4	1.5
		期 間	北 西	9.1	1.8
	(7) 五里峠局	7年 4月	南南西	8.3	2.2
		5月	東北東	5.4	1.7
		6月	南南西	4.7	1.4
		期 間	北 東	8.3	1.8
	(8) 赤住局	7年 4月	東北東	19.4	3.7
		5月	東北東	12.2	3.4
		6月	東北東	10.5	2.6
		期 間	東北東	19.4	3.3
	(9) 志賀局	7年 4月	西南西	13.3	3.5
		5月	北 東	10.5	3.2
		6月	北 東	7.7	2.7
		期 間	北 東	13.3	3.1
七尾市	(10) 西岸局	7年 4月	南 西	6.3	1.7
		5月	南 西	6.6	1.6
		6月	南 西	5.3	1.4
		期 間	南 西	6.6	1.6

(注) 観測器の位置：地上10m（大福寺局、大西局、風無局、熊野局、福浦局、直海局、五里峠局、赤住局、西岸局）
：地上12m（志賀局）

風向・風速（つづき）

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
七尾市	(11)能登島局	7年 4月	南南西	9.9	1.7
		5月	北	5.5	1.6
		6月	南南西	6.6	1.3
		期 間	南南西	9.9	1.5
	(12)土川局	7年 4月	北 東	5.3	1.1
		5月	北 東	5.5	1.1
		6月	北 東	3.7	0.8
		期 間	北 東	5.5	1.0
	(13)笠師保局	7年 4月	西南西	10.6	2.7
		5月	西南西	9.7	2.6
		6月	西南西	7.9	2.1
		期 間	西南西	10.6	2.5
	(14)大津局	7年 4月	西	8.9	2.6
		5月	西	8.4	2.7
		6月	西南西	6.0	2.0
		期 間	西	8.9	2.4
	(15)田鶴浜局	7年 4月	西南西	7.2	1.3
		5月	西南西	5.3	1.3
		6月	西南西	4.9	1.0
		期 間	西南西	7.2	1.2
	(16)東湊局	7年 4月	西南西	9.9	2.1
		5月	西南西	9.5	1.9
		6月	西南西	6.3	1.6
		期 間	西南西	9.9	1.9
中能登町	(17)末坂局	7年 4月	南南西	13.5	2.7
		5月	北	9.4	2.9
		6月	南南西	7.7	2.3
		期 間	南南西	13.5	2.6
	(18)能登部局	7年 4月	南 西	13.4	2.6
		5月	北 東	8.6	2.3
		6月	南 西	7.0	1.8
		期 間	北 東	13.4	2.2
羽咋市	(19)一ノ宮局	7年 4月	西	10.4	2.5
		5月	北北東	7.3	2.1
		6月	南南西	5.4	1.7
		期 間	南南西	10.4	2.1
輪島市	(20)門前局	7年 4月	西	18.7	3.6
		5月	東	13.8	3.1
		6月	西	8.1	2.7
		期 間	西	18.7	3.2

(注) 観測器の位置：地上10m

風向・風速（つづき）

石川県実施分

観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
輪島市	(21)本郷局	7年 4月	南	4.2	1.0
		5月	南	4.0	0.9
		6月	南	3.0	0.7
		期 間	南	4.2	0.9
穴水町	(22)大町局	7年 4月	北 西	8.6	1.9
		5月	北 西	8.9	1.9
		6月	南 東	7.5	1.6
		期 間	北 西	8.9	1.8
宝達志水町	(23)志雄局	7年 4月	東南東	8.3	2.3
		5月	東南東	7.5	2.2
		6月	東南東	6.1	2.0
		期 間	東南東	8.3	2.2
	(24)押水局	7年 4月	西南西	16.8	3.5
		5月	東北東	11.5	3.0
		6月	南 西	10.8	2.4
		期 間	南 西	16.8	3.0

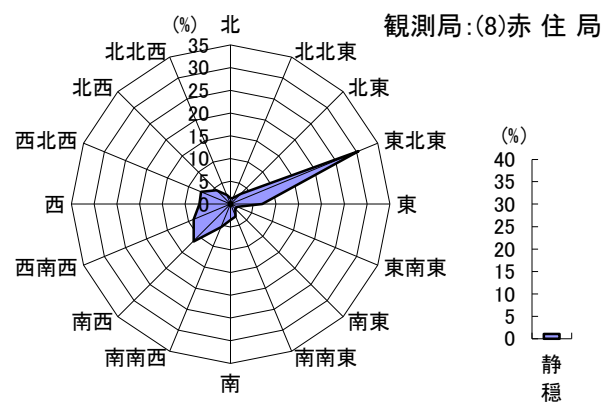
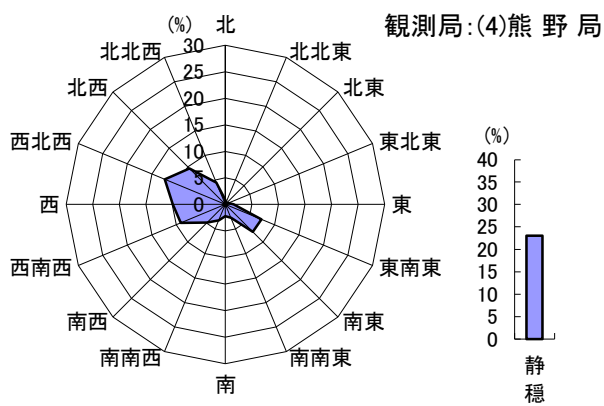
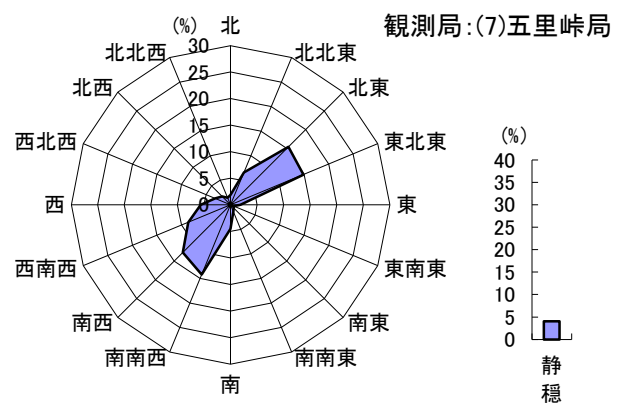
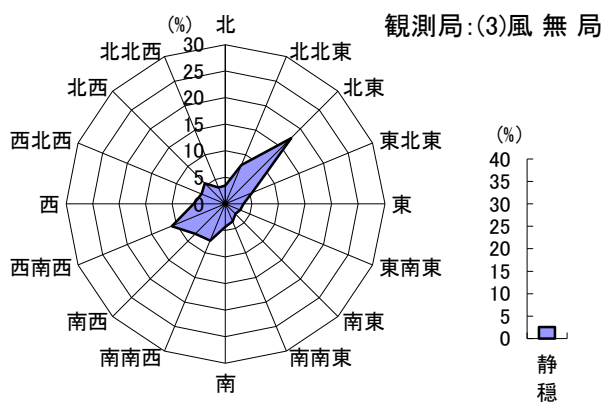
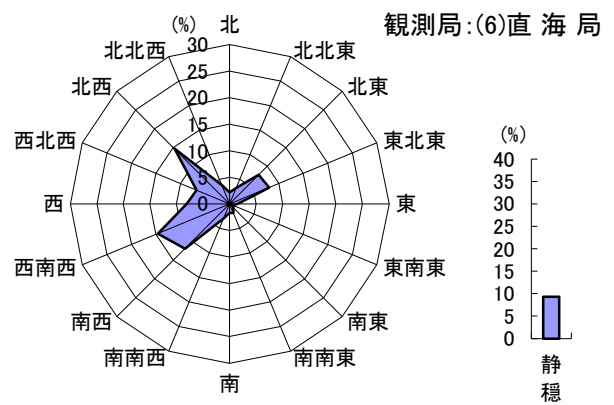
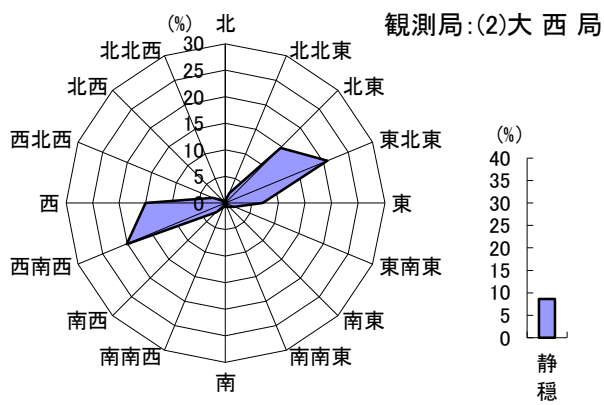
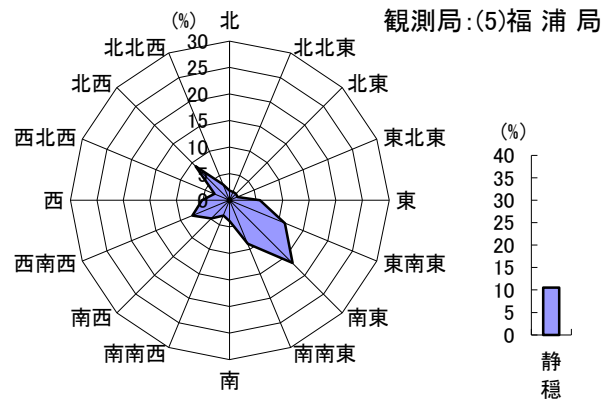
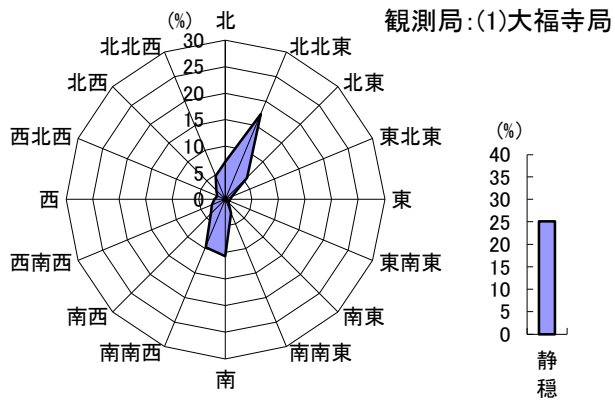
(注) 観測器の位置：地上10m

北陸電力実施分

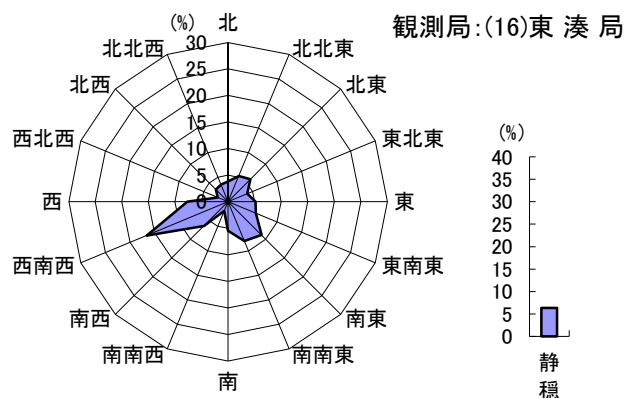
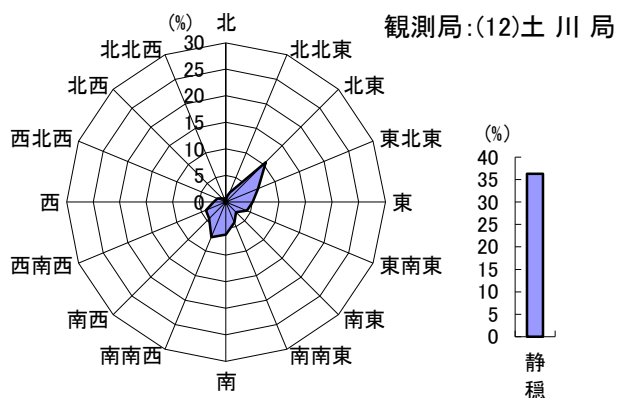
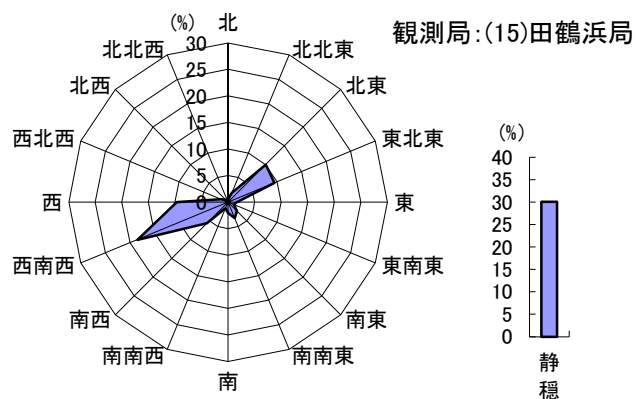
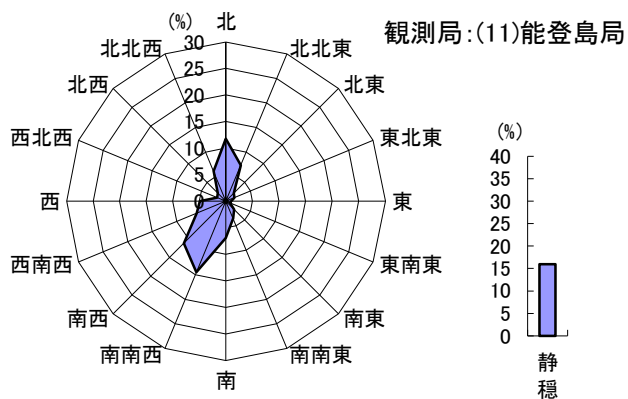
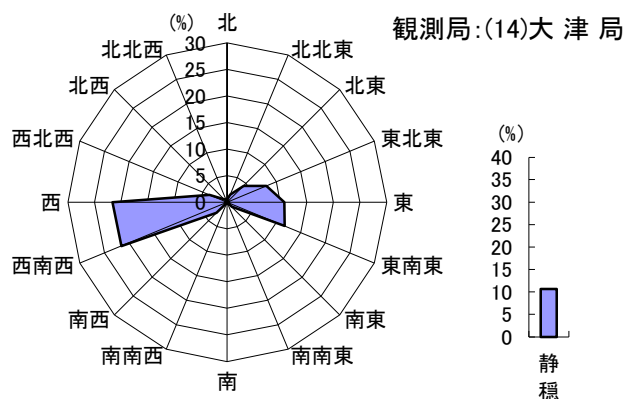
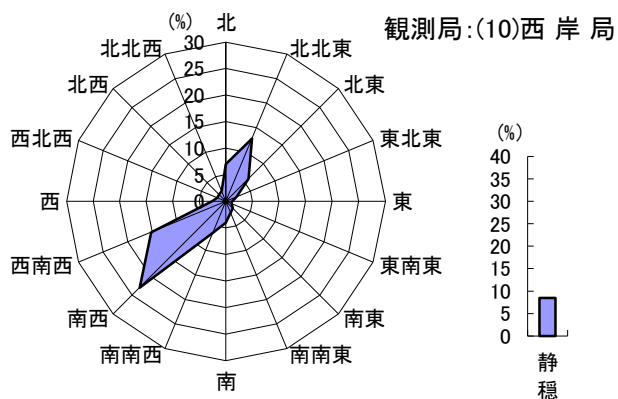
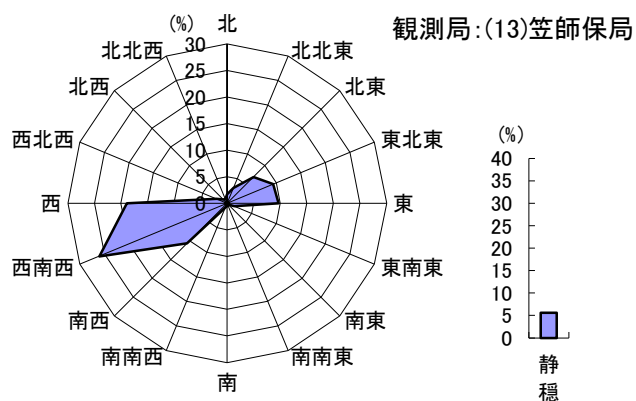
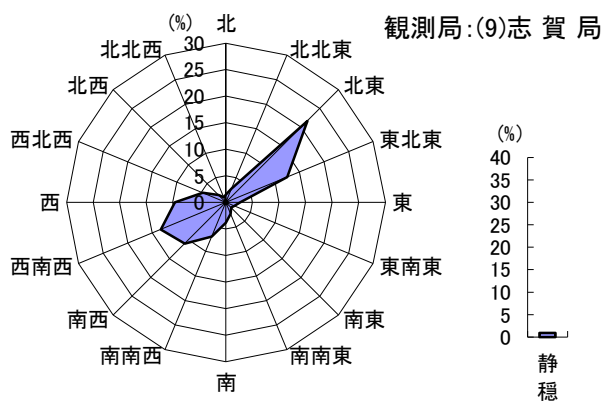
観測地点		測定年月	最多風向 (16方位)	風速 (m/s)	
				最高値	平均値
発電所敷地内 (気象観測鉄塔)		7年 4月	東	8.4	2.5
		5月	東	5.5	2.3
		6月	東	5.2	1.8
		期 間	東	8.4	2.2

(注) 観測器の位置：地上10m

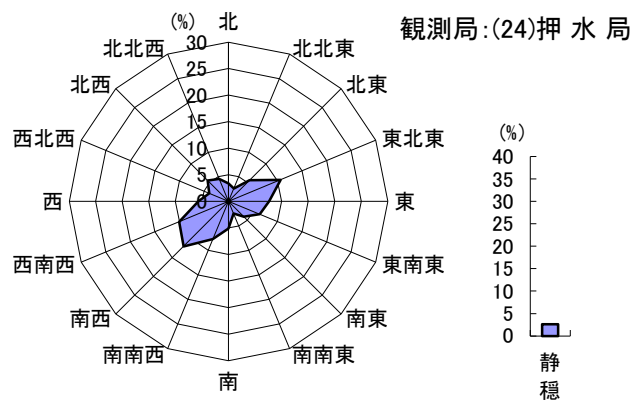
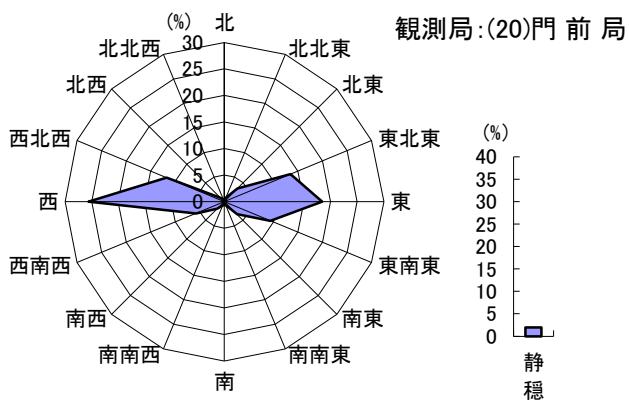
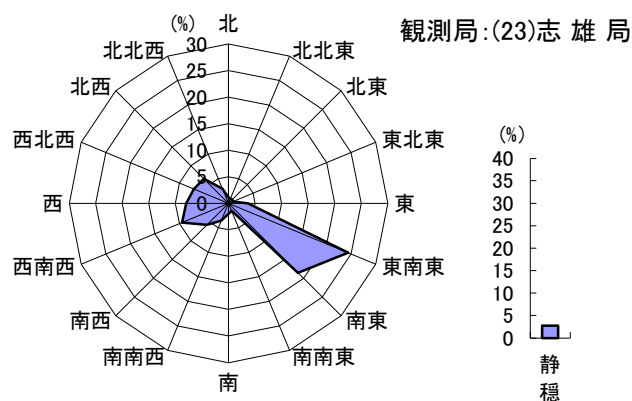
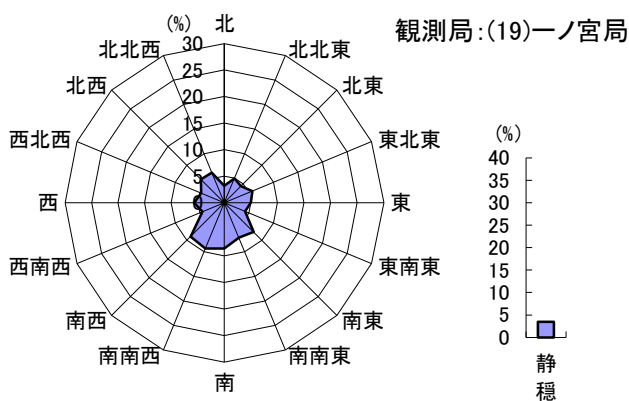
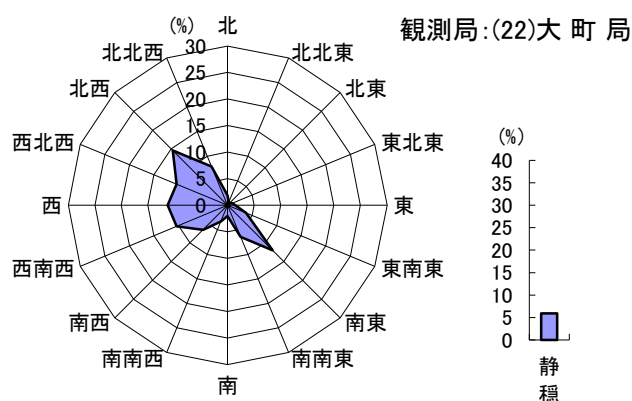
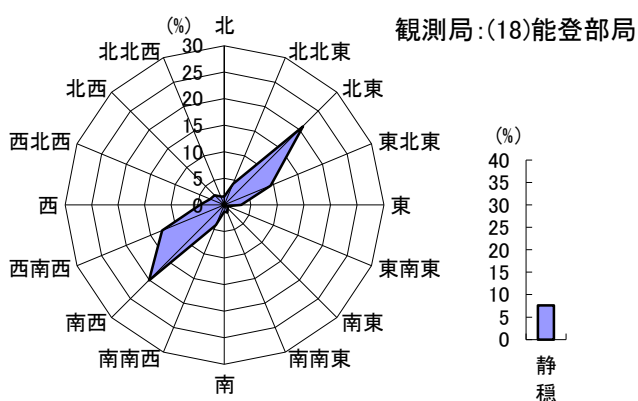
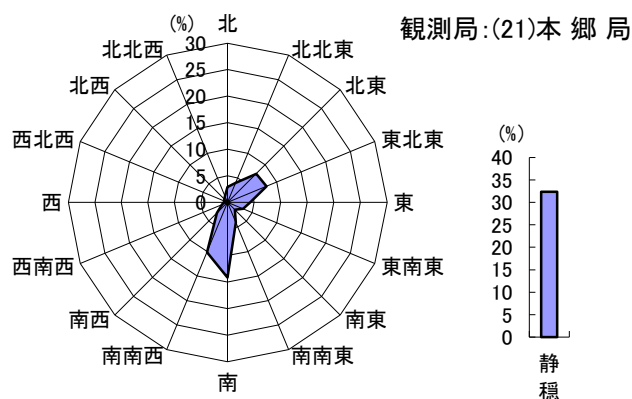
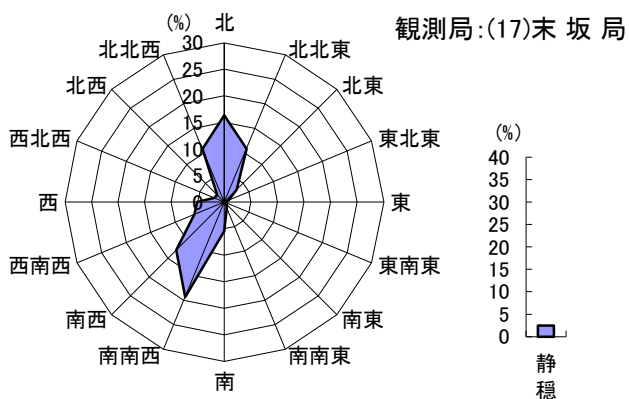
風 配 図



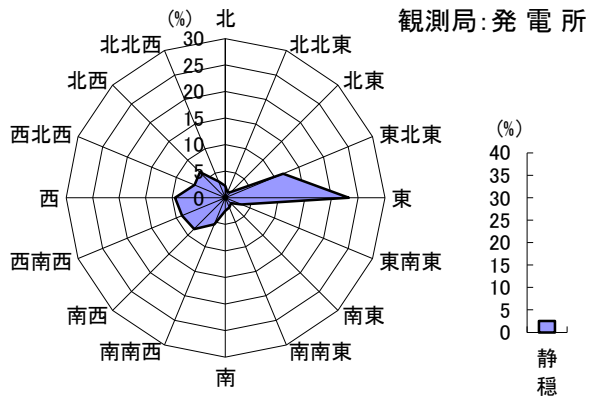
風 配 図



風 配 図

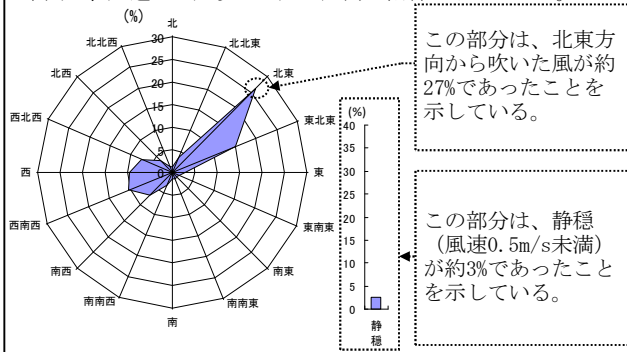


風 配 図



＜風配図の見方＞

本図は、風速0.5m/s以上の風の風向の割合を示している。



参 考

1	測定方法と測定機器	57
	(1) 空間放射線の連続測定	57
	(2) 環境試料中の放射能測定	58
	(3) 気象要素の観測	62
2	測定値の取扱い	63
3	検出目標レベル	64
4	比較対照地点の位置	66

1 測定方法と測定機器

(1) 空間放射線の連続測定

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
線 量 率	測定法 : 「連続モニタによる環境 γ 線 測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄柱上(地上1.8m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源: ^{137}Cs	線量率測定器 3" ϕ $\times$ 3" NaI(Tl)シンチレーション検出器
	県 (比較対象局: 辰口局) 測定法 : 「連続モニタによる環境 γ 線 測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄柱上(地上1.0m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源: ^{137}Cs	線量率測定器 2" ϕ $\times$ 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器
電	測定法 : 「連続モニタによる環境 γ 線 測定法(平成29.12[改訂]原子力規制庁)」に準拠 測定器の位置 : 鉄骨造建物屋上(地上4m) 測定エネルギー範囲 : 50keV ~ 3MeV 校正線源: ^{137}Cs	線量率測定器 2" ϕ $\times$ 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(2) 環境試料中の放射能測定

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
大 気 中 放 射 性 物 質	測定法 : 「大気中放射性物質測定法 (令和 4.6 [制定] 原子力規制庁)」に準拠 捕集材 : ダストモニター用ろ紙(長尺) 捕集方式: 捕集材間欠送り方式 吸引量 : 約 100L/分 吸引口高さ: 地上 2.2m 校正線源: ^{36}Cl、^{241}Am 評価式 : ・施設起因全β放射能濃度推定値 (β放射能) = 全β放射能濃度測定値－自然全β放射能濃度推定値 ・自然全β放射能濃度推定値 = 全α放射能濃度測定値$\times$基準β/α比	大気中放射性物質測定装置 ・ZnS(Ag)シンチレーション検出器 (全α放射能) ・プラスチックシンチレーション検出器 (全β放射能)
	測定法 : ヨウ素モニタによる大気中放射性ヨウ素測定 捕集材 : ろ紙(60mmϕ)及びチャコールカートリッジ(60mmϕ) 捕集方式: 捕集材自動交換方式 吸引量 : 約 50L/分 吸引口高さ: 地上 2.2m 校正線源: 模擬ヨウ素 (^{133}Ba 及び ^{137}Cs)	・2" ϕ $\times$ 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器
	測定法 : 大気浮遊じんの連続採取及び全β放射能測定 (捕集及び測定は同時方式) 捕集材 : ダストモニター用ろ紙(長尺) 捕集方式: 捕集材連続移動方式 吸引量 : 約 250L/分 吸引口高さ: 地上 2.5m 校正線源: U_3O_8	大気中放射性物質測定装置 ・プラスチックシンチレーション検出器

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定（つづき）

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (機器分析)	測定法：「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー(令和2.9〔改訂〕原子力規制庁)」に準拠 「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の前処理法(昭和57.7文部科学省)」に準拠 「放射性ヨウ素分析法(平成8.3〔改訂〕文部科学省)」に準拠 〔試料採取方法〕 大気中放射性物質(大気浮遊じん) (1)ダストサンプラー法 捕集材：ダストモニター用ろ紙(長尺) 吸引量：約100L/分 吸引口高さ：地上2.2m (2)ハイボリウムエアサンプラー法 捕集材：ハイボリウムエアサンプラー用ろ紙 吸引量：約800L/分 吸引口高さ：地上1.1m 〔試料測定形態〕 降下物(雨水ちり) ：蒸発濃縮物 大気中放射性物質(大気浮遊じん) ：灰化物(ダストサンプラー法) ：ろ紙(ハイボリウムエアサンプラー法) 陸 水(水道水) ：蒸発濃縮物 土 壌(2層) ：乾燥細土 指標植物(松葉) ：灰化物 畜産物(牛乳) ：灰化物(^{131}Iは生試料) 農産物：灰化物(白菜中^{131}Iは生試料) 海 水：AMP-MnO₂法による共沈物 海底土：乾燥細土 指標海産物(ホタテワラ) ：灰化物(^{131}Iは生試料) 海産物：灰化物(イワノリ、ワカメ中^{131}Iは生試料) 〔測定容器〕 灰化物、蒸発濃縮物、乾燥細土、共沈物 ：U-8容器又はそれに準じたもの 生試料：マリネリ容器	ゲルマニウム半導体検出器付核種分析装置 相対効率：約45% 分解能：約1.9keV 遮蔽材：鉄10mm 鉛120mm 無酸素銅5mm アクリル5mm

(注) 「県」は石川県実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定（つづき）

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (機器分析)	測定法：「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー(令和2.9〔改訂〕原子力規制庁)」に準拠 「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の前処理法(昭和57.7文部科学省)」に準拠 「放射性ヨウ素分析法(平成8.3〔改訂〕文部科学省)」に準拠 〔試料採取方法〕 (大気浮遊じん) ダストサンプラー法(大気浮遊じんの連続採取及び全β放射能測定の項参照) 〔試料測定形態〕 降下物(雨水ちり) ：蒸発濃縮物 大気中放射性物質(大気浮遊じん) ：灰化物(1カ月間のろ紙) 陸 水(水道水、河川水) ：蒸発濃縮物 土 壌：乾燥細土 指標植物(松葉) ：灰化物 畜産物(牛乳) ：灰化物(¹³¹Iは生試料) 農産物：灰化物(葉菜中¹³¹Iは生試料) 海 水：AMP-MnO₂法による共沈物 海底土：乾燥細土 指標海産物(おたけり) ：灰化物(¹³¹Iは生試料) 海産物：灰化物(わかめ中¹³¹Iは生試料) 〔測定容器〕 灰化物、蒸発濃縮物、乾燥細土、共沈物 ：U-8 容器 生試料：マリネリ容器	ゲルマニウム半導体検出器付核種分析装置 相対効率：約40% 分解能：約1.9keV 遮蔽材：鉄60mm 鉛100mm 無酸素銅5mm アクリル5mm

(注) 「電」は北陸電力実施分である。

(3) 環境試料中の放射能測定（つづき）

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
核種分析 (放射化学 分析)	測定法：「放射性ストロンチウム分析法 (平成 15.7 [改訂] 文部科学 省)」に準拠 〔測定容器〕 25mm φ ステンレススチール皿	低バックグラウンド放射能自動測定 装置 測定効率 ：約 26%(1 インチ検出器)又は 約 40%(2 インチ検出器) 遮蔽材：鉛(約 100mm)
	測定法：「トリチウム分析法(令和 5.10 [改訂] 原子力規制庁)」 に準拠 〔測定容器〕 100mL テフロン瓶	低バックグラウンド液体シンチレー ション計測装置 測定効率：約 25% 遮蔽材：鉛(約 100mm)
	測定法：「放射性ストロンチウム分析法 (平成 15.7 [改訂] 文部科学 省)」に準拠 〔測定容器〕 25mm φ ステンレススチール皿	低バックグラウンド放射能自動測定 装置 測定効率：約 30% 遮蔽材：鉛(約 100mm)
	測定法：「トリチウム分析法(令和 5.10 [改訂] 原子力規制庁)」 に準拠 〔測定容器〕 100mL テフロン瓶	低バックグラウンド液体シンチレー ション計測装置 測定効率：約 25% 遮蔽材：鉛(約 100mm)

(注) 「県」は石川県実施分、「電」は北陸電力実施分である。

(3) 気象要素の観測

石川県実施分

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
風 向	尾翼－光エンコーダ方式* ¹ 又は 尾翼－磁気エンコーダ方式* ²	風 向 風 速 計
風 速	プロペラー光パルス方式* ¹ 又は プロペラー磁気パルス方式* ²	
日 射 量	銅－コンスタンタン熱電対方式	日 射 計
放 射 収 支 量	銅－コンスタンタン熱電対方式	放 射 収 支 計
気 温	白金測温抵抗方式	温 度 計
湿 度	静電容量方式	湿 度 計
降 水 量	温水加温受水口－転倒升方式* ¹ 又は パイプヒータ付転倒升方式* ²	雨 雪 量 計
積 雪 深	可視光レーザー反射方式	積 雪 深 計
感 雨 雪	電極間抵抗変化方式	感 雨 雪 計
感 雷	大気中電界強度測定方式	感 雷 計

*¹：風無局、熊野局、福浦局、直海局、五里峠局、赤住局、志賀局、土川局、大津局

*²：大福寺局、大西局、西岸局、能登島局、笠師保局、田鶴浜局、東湊局、末坂局、
能登部局、一ノ宮局、門前局、本郷局、大町局、志雄局、押水局

北陸電力実施分

項 目	測 定 方 法	測 定 機 器
風 向	尾翼－制御シンクロ方式	風 向 風 速 計
風 速	プロペラーパルス方式	
気 温	白金測温抵抗方式	温 度 計
降 水 量	電熱加温漏斗－転倒升方式	雨 雪 量 計
感 雨 雪	電極面短絡電流方式	感 雨 雪 計

2 測定値の取扱い

項 目		単 位	測 定 値 の 取 扱 い	備 考
空間放射線	線 量 率	nGy/h	小数第1位まで (石 川 県) 有効数字3桁 (北 陸 電 力)	1 0 分値
	大放射能物質中質			
環境試料中の放射能	全 α 放射能	Bq/m ³	有効数字2桁又は小数第2位まで (石川県のみ)	石川県：1 0 分値
	全 β 放射能	Bq/m ³	有効数字2桁又は小数第2位まで	北陸電力：1 時間値
	放射能ヨウ素	Bq/m ³	有効数字2桁又は小数第2位まで (石川県のみ)	
	降 下 物	Bq/m ² ・月	・本文中に記載する測定値の有効数字は原則として2桁	
	大気中放射性物質	mBq/m ³	・資料編では測定値に計数誤差を併記	
	陸 水 ・ 海 水	mBq/L	・放射能濃度が検出目標レベル未満の場合はLTD (Less Than Discrimination level) とする。(検出目標レベルは次ページ以降に示す。)	
	土 壌 ・ 海底土	Bq/kg 乾土	・放射能濃度が検出下限値未満の場合はND (Not Detected) とする。(放射能濃度をN、計数誤差をΔNとしたとき、N<3ΔNを検出下限値未満とする。)	
	農 水 産 生 物	Bq/kg 生		
	牛 乳	Bq/L		
	放 射 化 学 分 析			
放射能	陸 水	mBq/L	・降下物は30日換算値	
	土壌・海底土	Bq/kg 乾土	・「その他の核種」は ⁵¹ Cr、 ⁵⁴ Mn、 ⁵⁹ Fe、 ⁵⁸ Co、 ⁶⁰ Co、 ¹³⁴ Csを表す。 ¹³⁴ Csについては福島第一原子力発電所事故時のみ検出、それ以外の核種についてはこれまで検出されたことが無いことからまとめて記載する。検出された場合、個別に記載する。(海水のその他の核種は ⁵⁴ Mn、 ⁵⁹ Fe、 ⁵⁸ Co、 ⁶⁰ Co、 ¹³⁴ Csを表す。)	
	農水産生物	Bq/kg 生		
	牛 乳	Bq/L		
気象要素	風 向	16 方位		石川県：1 0 分値
	風 速	m/s	小数第1位まで	北陸電力：1 時間値

(注) 数値の丸め方は四捨五入とする。

北陸電力の気象要素の1時間値については、正時前10分値を1時間値とする。

3 検出目標レベル

ゲルマニウム半導体検出器による測定は、検出器の性能、試料の形状、測定時間等により検出下限値が異なるため、検出目標レベルを定めて運用する。
次表に試料毎の核種別の検出目標レベルを示す。

測定試料	測定条件		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³¹ I (直接法)	単位
	供試料量	試料形状等									
陸上試験料	降下物 (雨水ちり)	蒸発濃縮物	4	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	—	Bq/m ² ・月
	大気中放射性物質 (大気浮遊じん)	ろ紙または 灰化物	0.9	0.02	0.08	0.04	0.02	0.02	0.02	—	mBq/m ³
	陸水	蒸発濃縮物	40	4	6	4	3	3	4	—	mBq/L
	土壌	乾燥細土	20	2	3	2	2	2	2	—	Bq/kg 乾土
	指標植物 (松葉)	灰化物	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	—	Bq/kg 生
	畜産物 (牛乳)	灰化物	0.5	0.07	0.2	0.09	0.09	0.09	0.06	0.07	Bq/L
	農産物	灰化物	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
海洋試験料	海水	共沈物	—	3	6	3	3	3	2	—	mBq/L
	海底土	乾燥細土	20	2	3	2	2	2	2	—	Bq/kg 乾土
	指標海産物 (ホンダワラ)	灰化物	2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
	海藻類	灰化物	2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	Bq/kg 生
	貝類	灰化物	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	—	Bq/kg 生
	魚類	灰化物	2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	—	Bq/kg 生

(注)「—」は調査対象外を示す。

3 検出目標レベル (つづき)

ストロンチウム、トリチウムの測定は、検出器の性能、試料の形状、測定時間等により検出下限値が異なるため、検出目標レベルを定めて運用する。
次表に試料毎の核種別の検出目標レベルを示す。

測定試料	測定条件		⁹⁰ Sr	³ H	単位
	供試料量	測定時間			
陸上試験材料	陸 水	50mL	—	1	Bq/L
		100L	0. 2	—	mBq/L
	土 壌	100g 乾土	0. 4	—	Bq/kg 乾土
		畜産物 (牛乳)	0. 0 2	—	Bq/L
	農畜産物	1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生
海洋試験材料	海 水	50mL	—	1	Bq/L
	海 底 土	100g 乾土	0. 4	—	Bq/kg 乾土
	藻 類	1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生
	貝 類 魚 類	1kg 生	0. 0 4	—	Bq/kg 生

(注) 「—」は調査対象外を示す。

4 比較対照地点の位置

